2019年度
実習受け入れ施設、保育士養成校、実習生を対象としたアンケート集計結果
【抜粋版】

公益社団法人兵庫県保育協会
調査研究委員会
保育実習充実支援実行委員会

1. 目的

保育人材の確保と定着について困難な状況である中、本協会では実習の時点で保育士職の魅力ややりがいをしっかりと伝えていくことが必要だと考えられます。そのためにも保育所・認定こども園、保育士養成校、実習生の 3 者を対象に、実習の現状や思いについて状況調査を行い、今後の実習生の受け入れ方の提案や研修の企画につなげていくことを目的とし、本調査を行いました。

2. 調査方法

(1) 調査対象

アンケートＡ：兵庫県保育協会会員施設【実習生の受け入れ側】
アンケートＢ：兵庫県内保育士養成校【実習生を送り出す側】
アンケートＣ：実習生（就職して 2 年目以内の保育士を含めます）【実習生自身】

(2) 実施方法

依頼文書とアンケート用紙を送付し、返信用封筒を使用して回答を得ました。

(3) 実施期間

2019 年 7 月 19 日から 2019 年 8 月 9 日まで

3. 結果と考察

(1) 回答結果

アンケート内容	送付施設数	最大送付部数	回答数	回答率
A 本協会会員施設	499 件	499 部	292 部	58.5%
B 保育士養成校	34 件	275 部	64 部	23.3%
C 実習生等	533 件	1,772 部	466 部	28.2%

(2) アンケート内容（Ａ～Ｃ）の結果

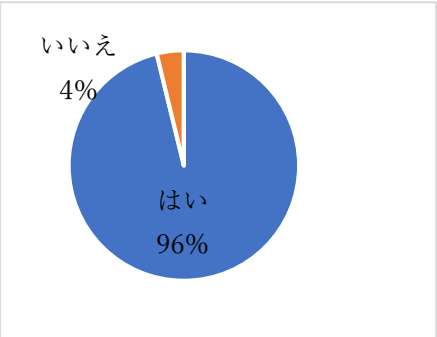
次ページ以降は調査対象の結果を掲載しています。自由記述は回答者の言葉をそのまま引用し、掲載しています。

会員施設（A）抜粋版

実習受け入れ施設（会員施設）を対象としたアンケート　結果

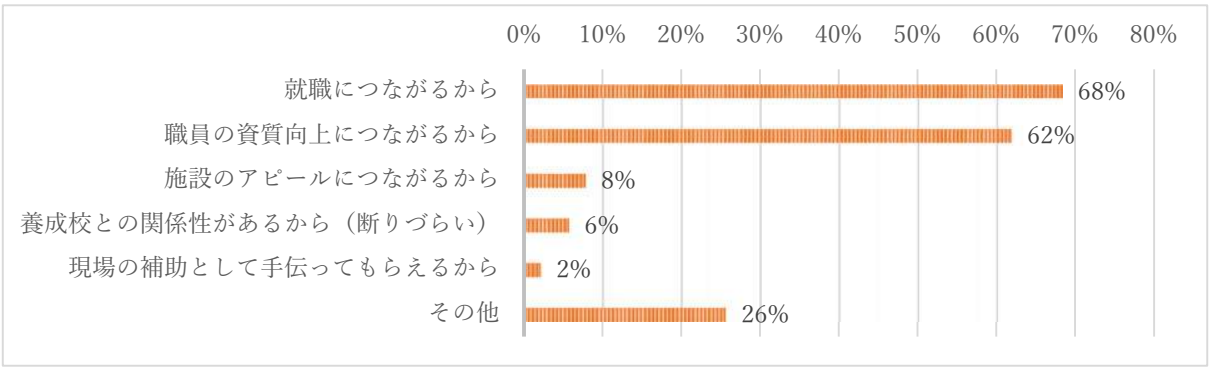
1．貴施設では実習生を受け入れていますか？

回答欄	件数	%
はい	281	96.23%
いいえ	11	3.77%
合計	292	100.00%



1-2．はいと回答した場合の上位 2 つの理由を教えてください。

回答欄	件数	%
就職につながるから	192	68.33%
職員の資質向上につながるから	174	61.92%
施設のアピールにつながるから	22	7.83%
養成校との関係性があるから（断りづらい）	16	5.69%
現場の補助として手伝ってもらえるから	6	2.14%
その他	72	25.62%

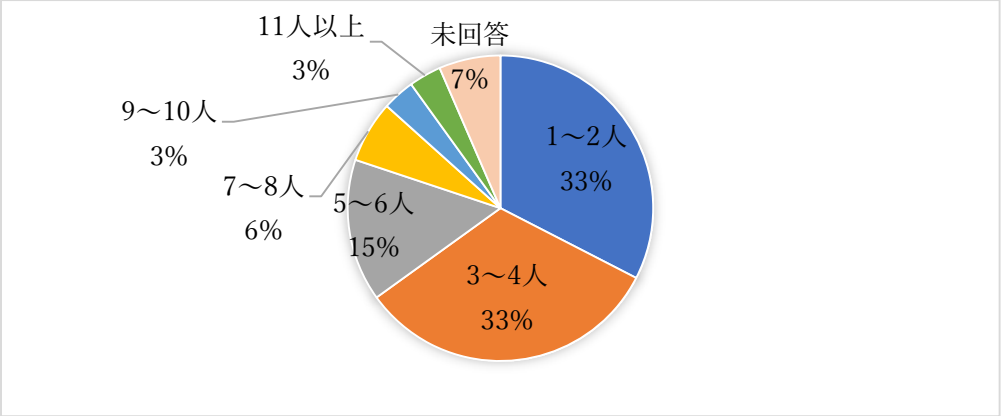


1-3.「いいえ」と回答した場合の理由を教えてください。（抜粋）
※理由記入後、以降の回答は無し。

・新設のため受け入れ体制が整っていないため
・実習生を受け入れる余裕がないため（日々の保育でいっぱいのため）
・今年度は、職員人数や保育経験が浅い者ばかりだったので他園にお願いした。
・新園で実習生を指導できる体制ができていない。
・依頼が無いため。
・過去に受け入れていたが、就職につながらないため、受け入れをやめました。
・以前は受け入れをしていたが、事情により停止した。

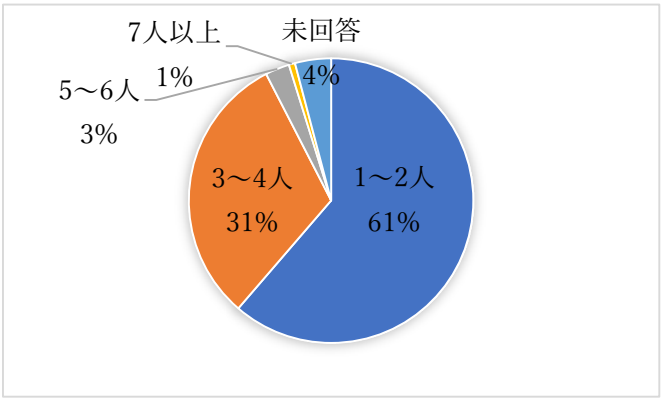
2. 年間で何名くらいの実習生を受け入れていますか？

回答欄	件数	%
1～2 人	95	32.53%
3～4 人	95	32.53%
5～6 人	44	15.07%
7～8 人	19	6.51%
9～10 人	10	3.42%
11 人以上	10	3.42%
未回答	19	6.51%
合計	292	100.00%



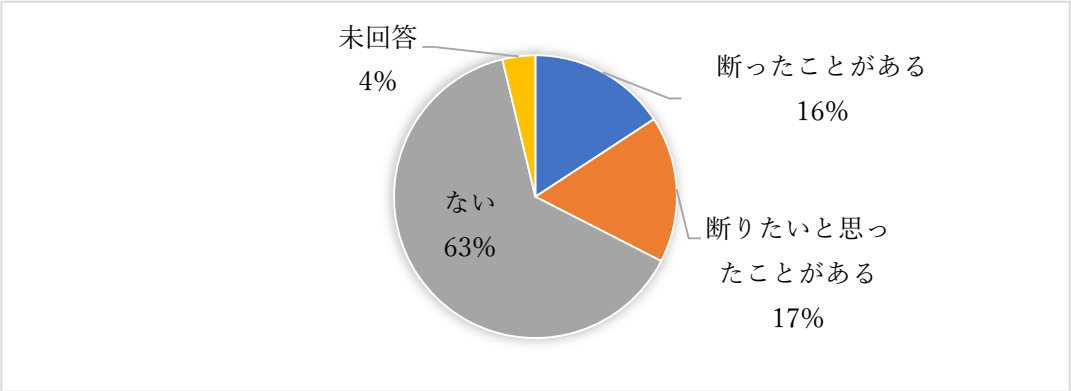
3. 同時期に最大何名の実習生を受け入れできますか？

回答欄	件数	%
1～2 人	179	61.30%
3～4 人	91	31.16%
5～6 人	8	2.74%
7 人以上	2	0.68%
未回答	12	4.11%
合計	292	100.00%



4. 実習の受け入れを断ることはありますか？
　または断りたいと思ったことはありますか？

回答欄	件数	%
ない	186	63.70%
断りたいと思ったことがある	49	16.78%
断ったことがある	46	15.75%
未回答	11	3.77%
合計	292	100.00%



4-2. 断ったことがあるまたは断りたいと思ったことがあると回答した場合、理由を教えてください

★断ったことがある理由（抜粋）

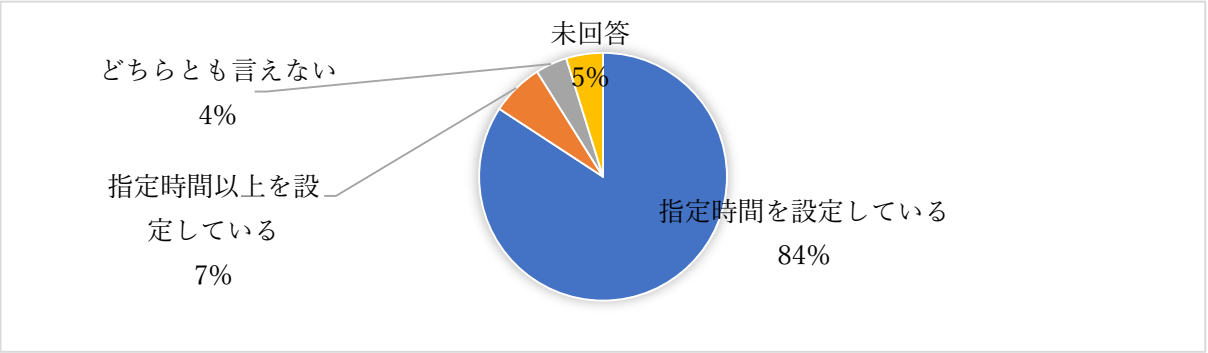
時期的、行事的な理由によるもの	**15 件**
・実習時期が重なったため。 ・園の大きな行事（運動会・発表会など）と実習期間が重なり対応できないと判断したとき。	
受け入れ人数の限度によるもの	**18 件**
・代表の学生が電話してきて友達と 5 人受けて欲しいと言われたので断った。 ・実習の申し入れが多く、人数が多いと職員にも負担になるため。	
実習生の態度によるもの	**2 件**
・Ⅰで受け入れたが、指導を受ける態度に疑問を持ったのでⅡはお断りしました。 ・実習生がアレルギー児童に除去しているものを与え学校に報告した際の対応が悪かった為。	
その他	**8 件**
・指導者（指導できる職員が）がいない。就職に結びつかない。 ・幼稚園実習だったので、幼稚園に行くように勧めた。	

★断りたいと思った理由（抜粋）

時期的、行事的な理由によるもの	**22 件**
・大きな行事に向かう時期に担当の職員の負担を考えるとそう思ったことがある。 ・忙しさでゆったり指導できないと思ったり、評価を記入するのに手間取るので困難かなと思ったりで時期によっては断りたいと思うこともある。	
受け入れ人数の限度によるもの	**10 件**
・実習生の人数が多すぎて、丁寧な指導ができないと思ったから。 ・断ったことは無いがトライやるウィーク、看護師の実習生と日が重なると部屋に大人が多すぎて、保育実習生の方に適切な対応がしてあげられない為。	
実習生の態度によるもの	**11 件**
・実習生に学ぶ意欲が見られなった時 ・事前訪問の時間に遅れる、検便提出ができない、学生気分のまま金髪など。	
その他	**8 件**
・正職員が少なく、保育にあたる職員で手一杯の中、実習生の指導が十分にできにくいと思ったため。 ・職員への負担が大きい。	

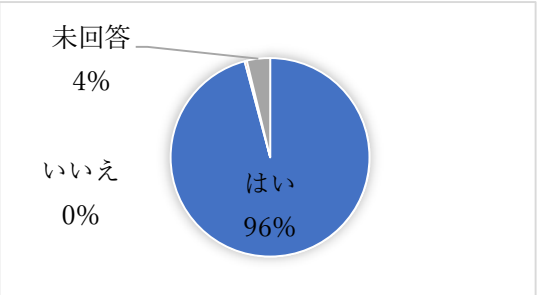
5. 保育実習の時間は指定時間数（80 時間）に設定していますか？
それ以上の時間を実習していますか？

回答欄	件数	%
指定時間を設定している	246	84.25%
指定時間以上を設定している	20	6.85%
どちらとも言えない	12	4.11%
未回答	14	4.79%
合計	292	100.00%



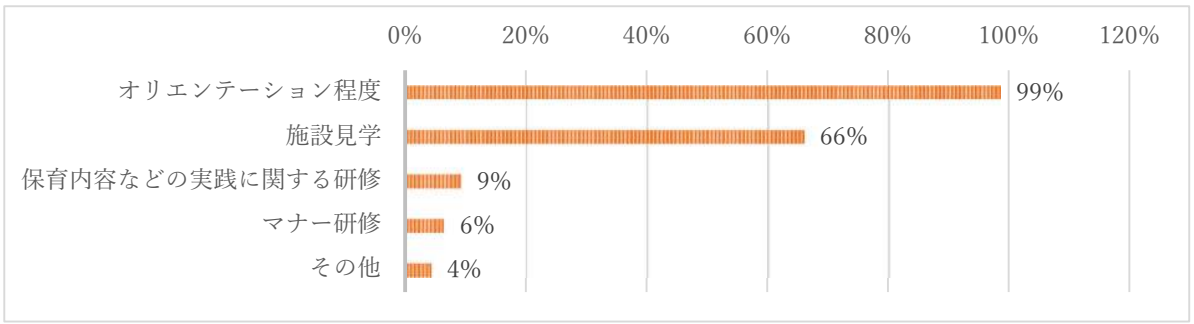
6. 実習前に実習生と話す機会や研修を設定していますか？

回答欄	件数	%
はい	280	95.89%
いいえ	1	0.34%
未回答	11	3.77%
合計	292	100.00%



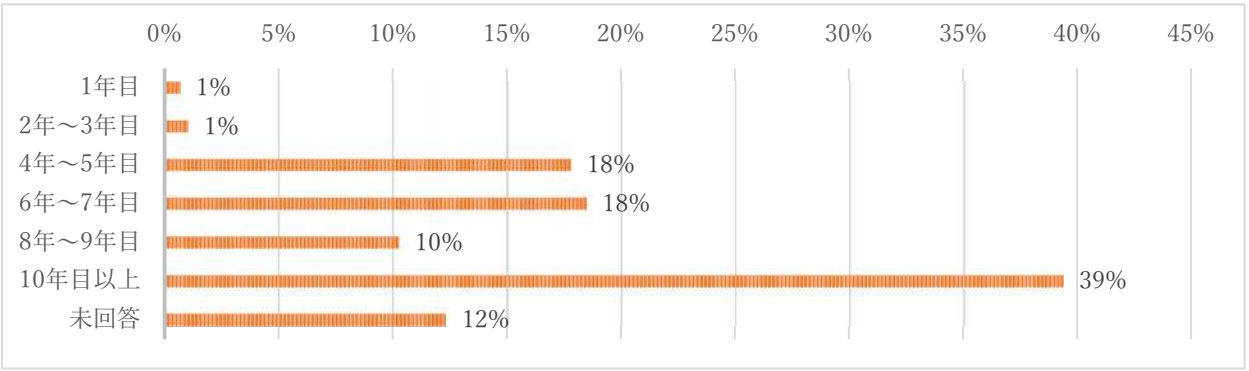
6-2. はいと回答した場合、どのような機会と研修を実施していますか？（複数回答可）

回答欄	件数	%
オリエンテーション程度	276	98.57%
施設見学	185	66.07%
保育内容などの実践に関する研修	26	9.29%
マナー研修	18	6.43%
その他	12	4.29%



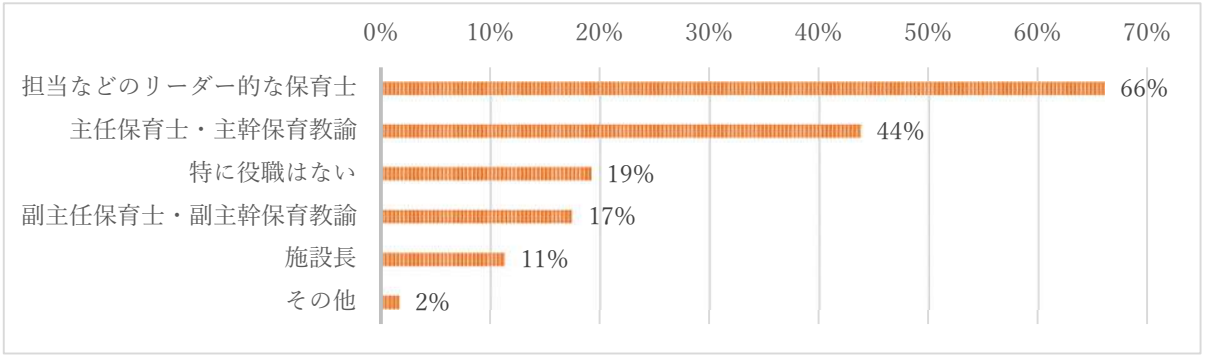
7. 保育実習の指導者はどれくらいの経験年数の者が対応していますか？
1番多いと思われる年数を教えてください。

回答欄	件数	%
1年目	2	0.68%
2年～3年目	3	1.03%
4年～5年目	52	17.81%
6年～7年目	54	18.49%
8年～9年目	30	10.27%
10年目以上	115	39.38%
未回答	36	12.33%
合計	292	100.00%



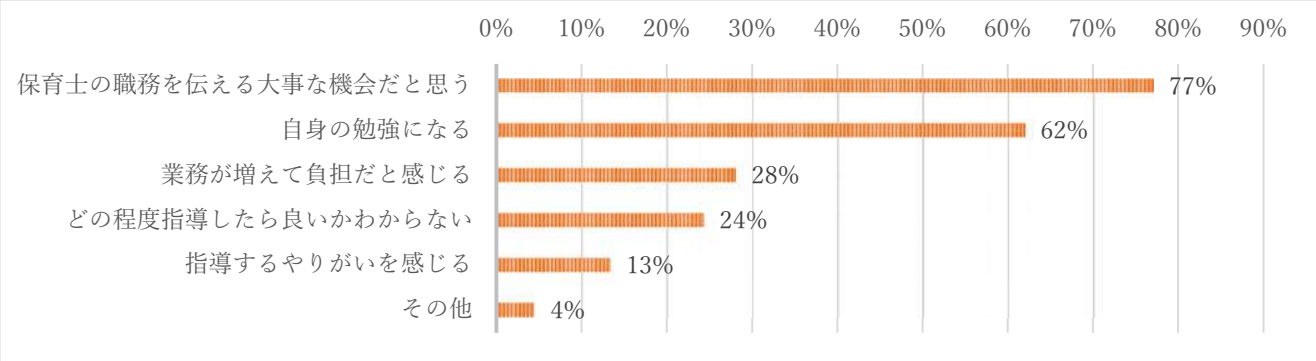
8. 上記の実習の指導者は役職がついていますか？（複数回答可）

回答欄	件数	%
担当などのリーダー的な保育士	193	66.10%
主任保育士・主幹保育教諭	128	43.84%
特に役職はない	56	19.18%
副主任保育士・副主幹保育教諭	51	17.47%
施設長	33	11.30%
その他	5	1.71%



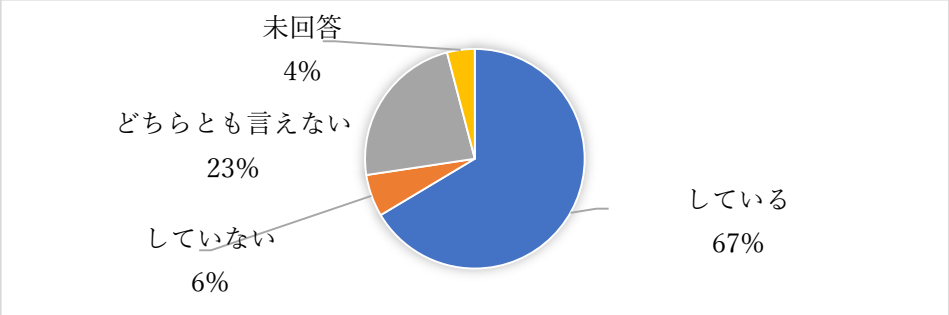
9. 実習の指導者が実習に対して感じるイメージを教えてください。（複数回答可）

回答欄	件数	%
保育士の職務を伝える大事な機会だと思う	225	77.05%
自身の勉強になる	181	61.99%
業務が増えて負担だと感じる	82	28.08%
どの程度指導したら良いかわからない	71	24.32%
指導するやりがいを感じる	39	13.36%
その他	13	4.45%



10. 実習生の対応や指導方法、実習生の目的は施設内で共有していますか？

回答欄	件数	%
している	194	66.44%
どちらとも言えない	68	23.29%
していない	18	6.16%
未回答	12	4.11%
合計	292	100.00%

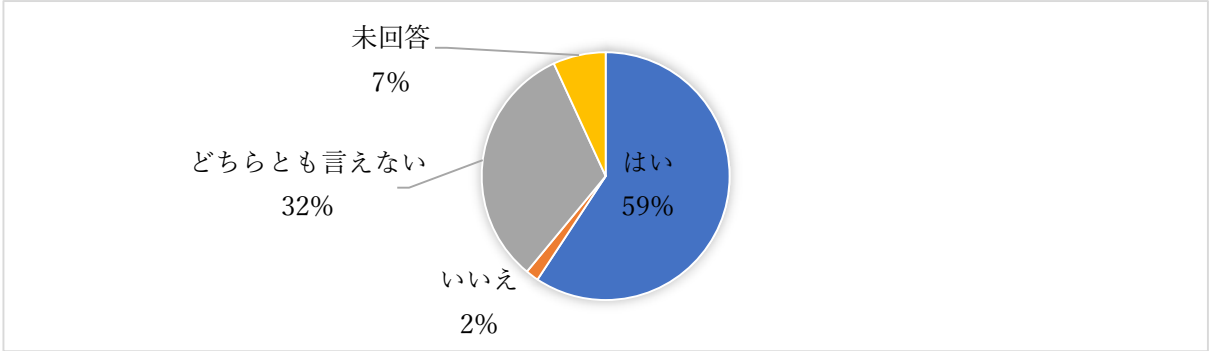


10-2. していると回答した場合、どのように共有しているか教えてください。（抜粋）

全体の会議で共有している	**95 件**
・職員会議で話し合ったり、実習ノートは回覧している。 ・記録の提出の方法や添削の仕方等も含め、職員会議やミーティングで話し合いをする。	
研修で共有している	**5 件**
・園長が園内研修を行う。 ・受け入れ前の研修を行っている。	
掲示物や資料の回覧で共有している	**11 件**
・日程表を全職員に提示。 ・実習生の心得、実習計画を回覧し共通理解をしている。	
担当の職員や一定の職員で共有している	**11 件**
・実習記録は担任、園長の他、複数の保育士で目を通し、表現の仕方などが適切か確認している。 ・主担会議にて周知している。	
マニュアル対応で共有している	**25 件**
・自分達が研修等にて学んだことを伝えていくことと同様に先輩から後輩及び新任へ指導を伝える体制がある。 ・基本的な内容マニュアルを作っている。	
その他	**39 件**
（指導の心意気や信念等に関する内容がほとんどであったため、省略）	

11. 保育実習Ⅰと保育実習Ⅱで指導内容はそれぞれに合った内容を指導していると感じますか？その理由も教えてください。

回答欄	件数	%
はい	173	59.25%
どちらとも言えない	94	32.19%
いいえ	5	1.71%
未回答	20	6.85%
合計	292	100.00%



★「はい」（合っていると思った場合）の理由（抜粋）

養成校との打ち合わせや求めていることの理解ができている	7 件
・学校との事前打ち合わせにより指導しているから。 ・学生が持っている「実習の手引き」に書かれている実習内容を読んで指導しているつもりです。	
実習の種類によって実施する内容や指導方法などのルールを決めている	**93 件**
・Ⅰで見学実習、部分実習を行い、Ⅱで全日実習を行い、段階を踏んでいるから。 ・Ⅰの見学実習で各年齢に合った一日の流れや、発達の違い、それによって支援の仕方が変わってくることを学んでもらい、Ⅱの参加実習でⅠで学んだことを踏まえて、自らが主体となって保育を設定し、実践することで深い学びにつなげている。 ・観察では保育士が子どもと関わる姿を見ていただき、全日実習ではそれを踏まえて指導案を組んでいただいています。 ・保育実習ⅠとⅡでは実習生の経験値も学習内容も違っているので、それらに応じた事をするのが適していると思われるから。	
実習生と事前に打ち合わせを行っていたり、振り返りをしたりしている	**19 件**
・実習生を対象に振り返りを行い、実習生の感想を確認することで内容が理解されているかを確認している。 ・実習生がⅠでの反省を込めてⅡに向かえるよう評価と課題を明確にする。 ・実習ⅠとⅡを同じ実習生が訪問してくれるので、前回の経験を活かせる。	
職員間で反省会や見直しを随時行っている	**3 件**
・事前にオリエンテーションで決めたことをみんなで共有し、反省会では振り返りを行い、内容の点検をしている。	
その他	**9 件**
・経験が違うから。 ・指導案や日々の実習日誌などに目を通し、そのように感じます。	

★「いいえ」（合っていないと思った場合）の理由

・分けることは現実的に難しい。 ・実習日誌など、特にⅠとⅡに違いはないように感じる。 ・各実習で何をポイントに指導すればよいかが明確ではないから。

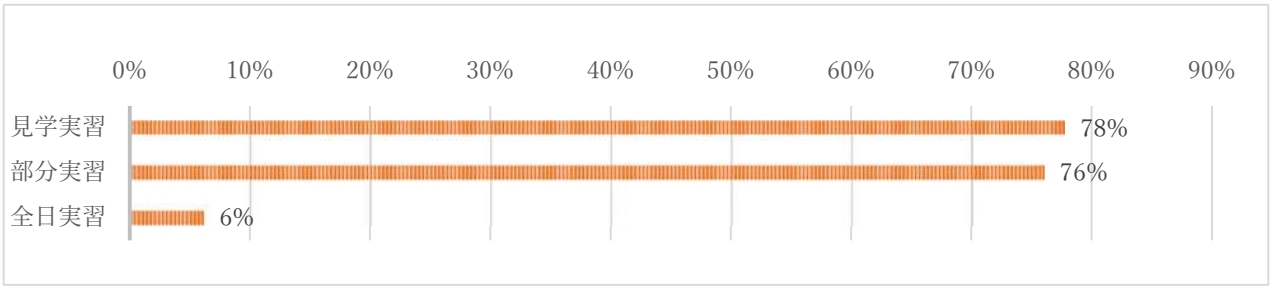
★「どちらとも言えない」の理由（抜粋）

行事、職員の配置による理由	5 件
・園の行事や通常の保育等の兼ね合いで、内容に従うことができない時がある。 ・指導内容は保育士本人に任せている部分が多い。	
実習生の性格や資質に関する理由	**18 件**
・指導内容を意識はしているが、実習生本人の意欲に合わせているところもある。 ・実習生により積極的な方もいれば自己を出さずに「園に従います」と言ったりするので、個人個人に合わせて指導しているつもりです。	

指導や対応に明確な基準がないから	9 件
・Ⅰ、Ⅱの違いがイマイチわかりづらい。 ・指導にあたる担当の職員の経験も様々で、それぞれに合った内容というもの自体がはっきりと理解できていない場合もあると感じる。	
その他	**5 件**
・保育実践の時間や日数が多くなっているだけで保育内容が充実していないように感じることがある。 ・養成校によって実習記録用紙が違うことから指導する側も難しい。 ・現場で“見学”と言われても、そうも行かず実習してもらっている。	

12. 保育実習Ⅰでは実習生にどのような内容をさせていますか？（複数回答可）
具体的な内容やさせている範囲を教えてください。

回答欄	件数	%
見学実習	227	77.74%
部分実習	222	76.03%
全日実習	18	6.16%

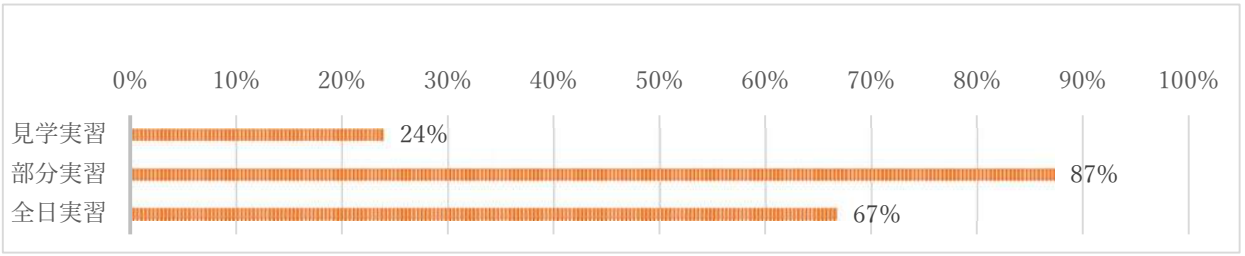


★具体的な内容（抜粋）
・各年齢クラスの見学
・子どもの実際の把握（年齢の育ち、生活の流れ）
・保育士の関わりを学ぶ
・実習生にやってみたいこと等を聞く
・手遊び
・絵本、紙芝居の読み聞かせ
・歌、わらべ歌、ピアノ
・設定保育
・自由遊び
・給食等
・手作りおもちゃの用意
・子どもと関わって遊ぶ
・担任保育士の補助

・制作
・折紙
・排泄
・ペープサート
・エプロンシアター
・午睡介助
・掃除

13. 保育実習Ⅱでは実習生にどのような内容をさせていますか？（複数回答可）
具体的な内容やさせている範囲を教えてください。

回答欄	件数	%
見学実習	70	23.97%
部分実習	255	87.33%
全日実習	195	66.78%

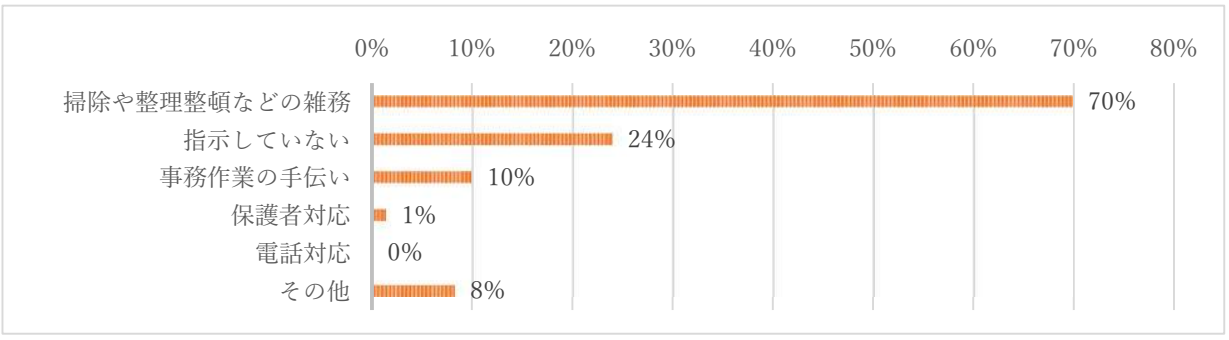


★具体的な内容（抜粋）
・律動、リトミック
・行事（おたのしみ会）の担当をする。
・食事指導
・朝の会や降園の会の進行
・特技披露
・簡単なゲーム
・毎日子どもの前で 15 分程度の手遊びや読み聞かせ等をする。
・カリキュラムの作成。
・研究保育
・生活指導
・年齢によっては活動の設定
・保育指導案をたてて 1 日は実習を行う。
・担任の補助的な役割と設定を計画し、実行する。
・部分実習と全日実習を行い、内容は実習生に任せる。
・全日実習ではその日のリーダーとして子どもに指示を出す。
・部分・半日・全日実習で、クラスの保育の流れ等計画を踏まえ、担任と相談しやってみ

たい内容をできる限り経験できるように考えている。
・指導案を書きそれに基づいた全日（研修保育）実習を行う。
・1 日実習をし、園長と担任が事後指導をする。
・実習生が主体となって設定保育に取り組む。
・部分実習指導案等を作成し実施する。後に反省会を開き担当より指導やアドバイスを行う。
・どんどん自分からやってみたいことを経験してもらい、全日に向けて取り組めるようにしている。
・全日の指導案を立て、教材研究をして実習してもらう。
・掃除、洗濯、片付け等、送迎バスの添乗（保育士と一緒に）
・保育指導案を作成し、それに基づく保育園の年間指導計画に基づく保育。
・保育活動の実践で具体的技術及び社会的（地域を含む）役割を学び記録にまとめて評価する。

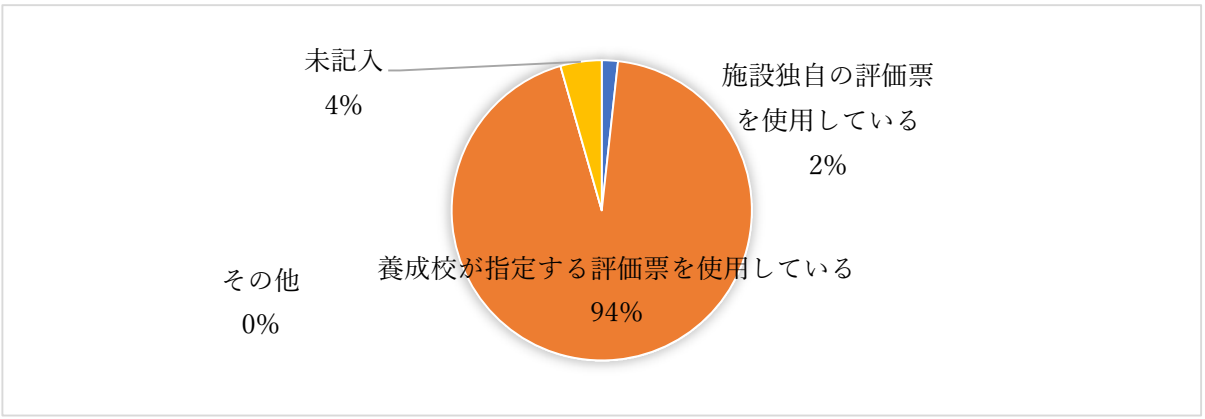
14. 実習生に保育や保育環境の整備以外の業務を指示していますか？（複数回答可）

回答欄	件数	%
掃除や整理整頓などの雑務	204	69.86%
指示していない	70	23.97%
事務作業の手伝い	29	9.93%
保護者対応	4	1.37%
電話対応	0	0.00%
その他	24	8.22%



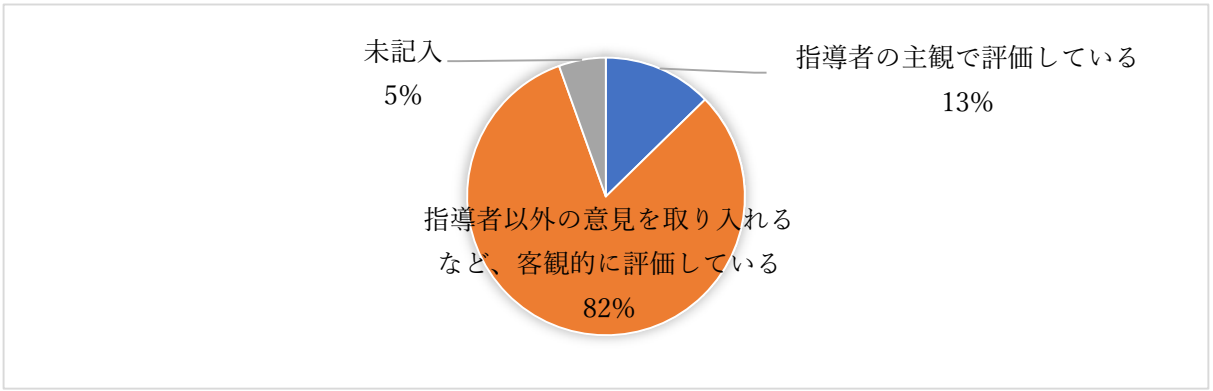
15. 実習生の評価票はどうしていますか？

回答欄	件数	%
養成校が指定する評価票を使用している	274	93.84%
施設独自の評価票を使用している	5	1.71%
その他	0	0.00%
未記入	13	4.45%
合計	292	100.00%



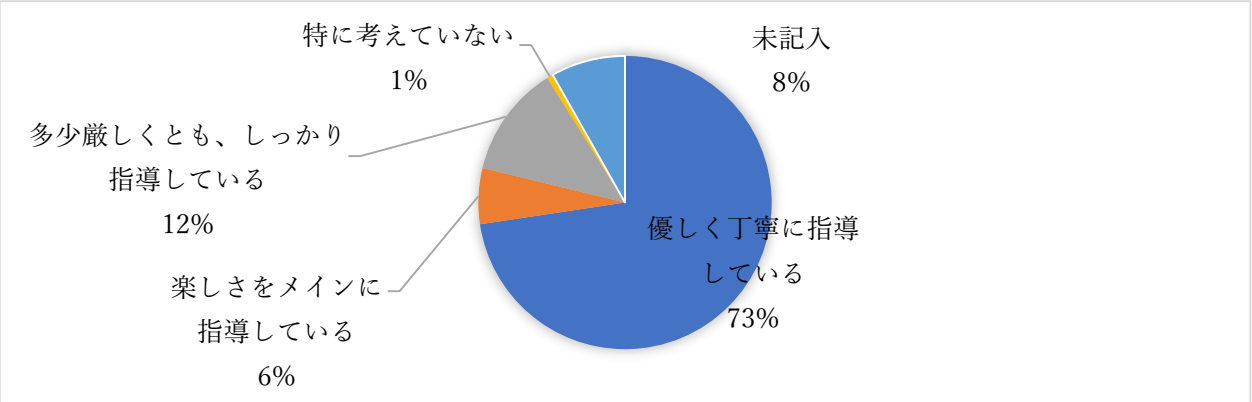
15-2. 上記の評価はどのように評価を決めていますか？

回答欄	件数	%
指導者以外の意見を取り入れるなど、客観的に評価している	239	81.85%
指導者の主観で評価している	37	12.67%
未記入	16	5.48%
合計	292	100.00%



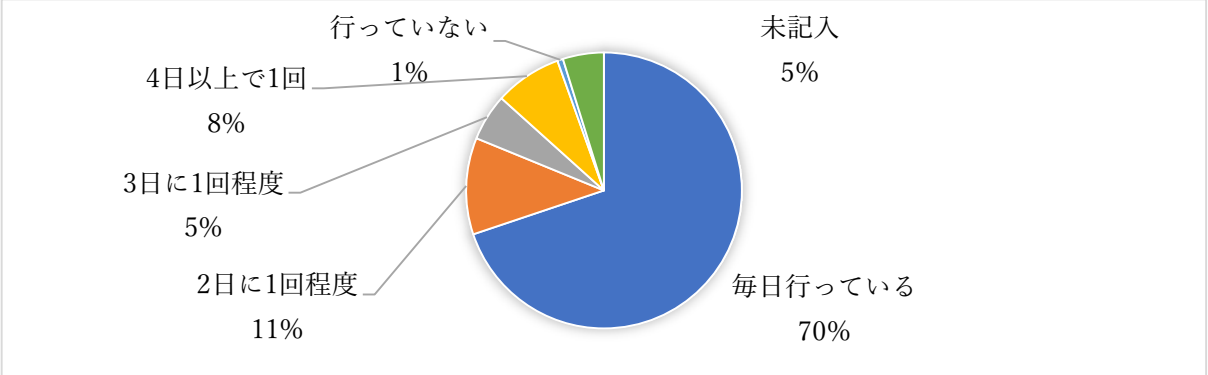
16. 実習生の対応はどのように心がけていますか？
方針に１番近いものを１つ選んでください。

回答欄	件数	%
優しく丁寧に指導している	212	72.60%
多少厳しくとも、しっかり指導している	36	12.33%
楽しさをメインに指導している	18	6.16%
特に考えていない	2	0.68%
未記入	24	8.22%
合計	292	100.00%



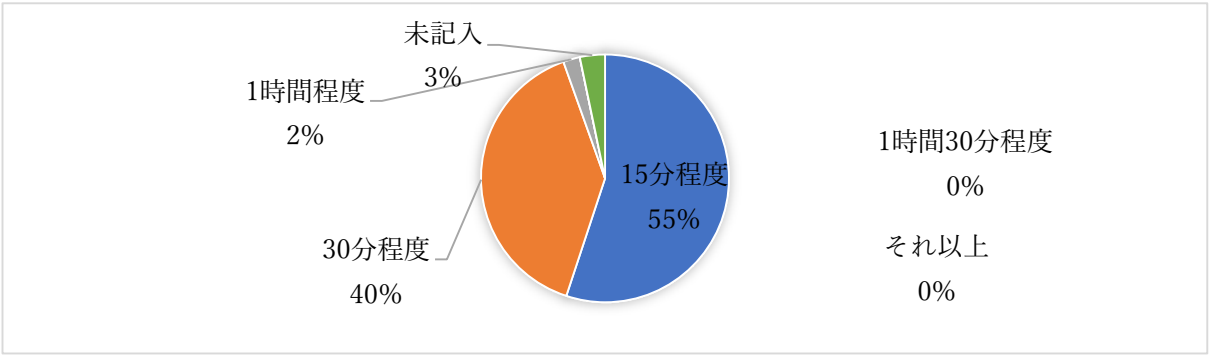
17. 実習の指導者と実習生で振り返りや、指導および協議はどの程度行っていますか？

回答欄	件数	%
毎日行っている	204	69.86%
2 日に 1 回程度	33	11.30%
3 日に 1 回程度	16	5.48%
4 日以上で 1 回程度	23	7.88%
行っていない	2	0.68%
未記入	14	4.79%
合計	292	100.00%



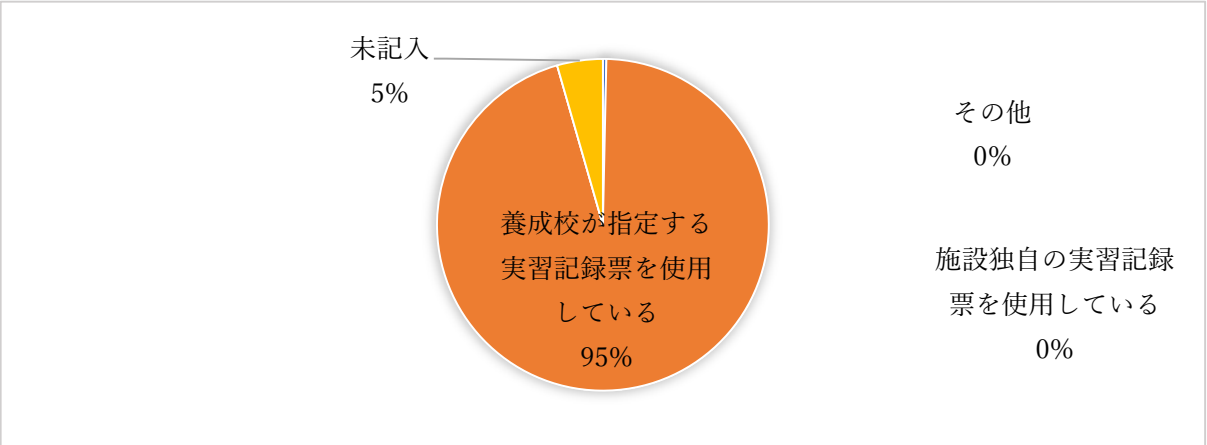
17-2. 振り返りや、指導および協議を行っている場合、1 回でどのくらいの時間を確保していますか？

回答欄	件数	%
15 分程度	152	55.07%
30 分程度	109	39.49%
1 時間程度	6	2.17%
1 時間 30 分程度	0	0.00%
それ以上	0	0.00%
未記入	9	3.26%
合計	276	100.00%



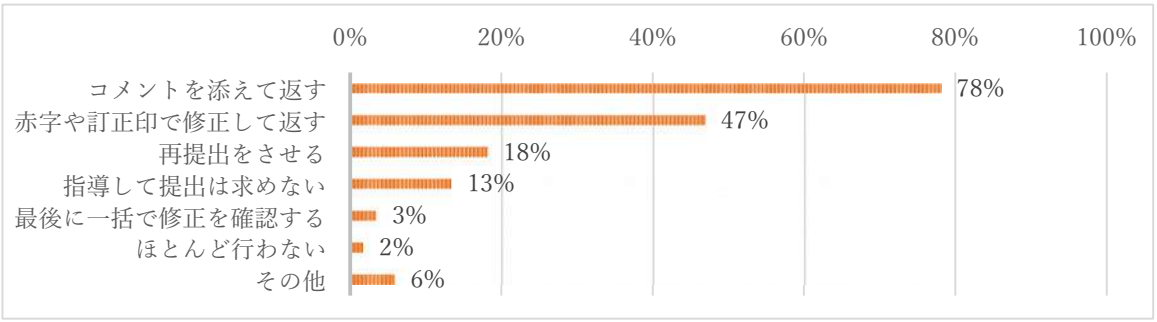
18. 実習生の実習記録はどうしていますか？

回答欄	件数	%
養成校が指定する実習記録票を使用している	278	95.21%
施設独自の実習記録票を使用している	1	0.34%
その他	0	0.00%
未記入	13	4.45%
合計	292	100.00%



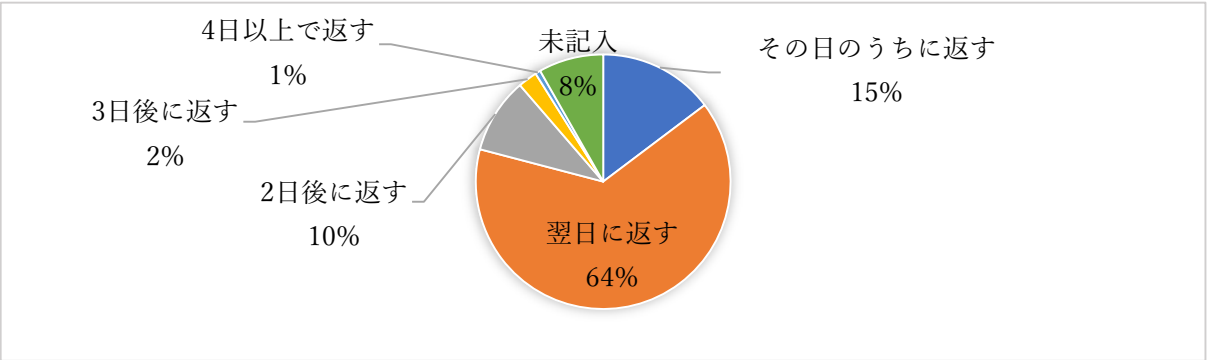
19. 提出される実習記録の修正はどのように指導を行うことが多いですか？（複数回答可）

回答欄	件数	%
コメントを添えて返す	228	78.08%
赤字や訂正印で修正して返す	137	46.92%
再提出をさせる	53	18.15%
指導して提出は求めない	39	13.36%
最後に一括で修正を確認する	10	3.42%
ほとんど行わない	5	1.71%
その他	17	5.82%



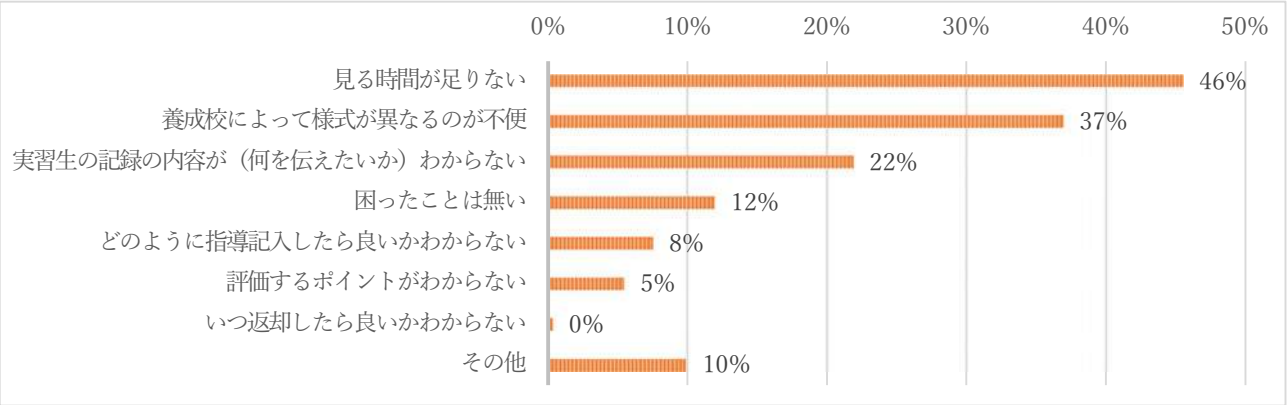
20. 実習記録を返却するまではどのくらいの日数が 1 番多いですか？

回答欄	件数	%
その日のうちに返す	43	14.73%
翌日に返す	188	64.38%
2 日後に返す	28	9.59%
3 日後に返す	7	2.40%
4 日以上で返す	2	0.68%
未記入	24	8.22%
合計	292	100.00%



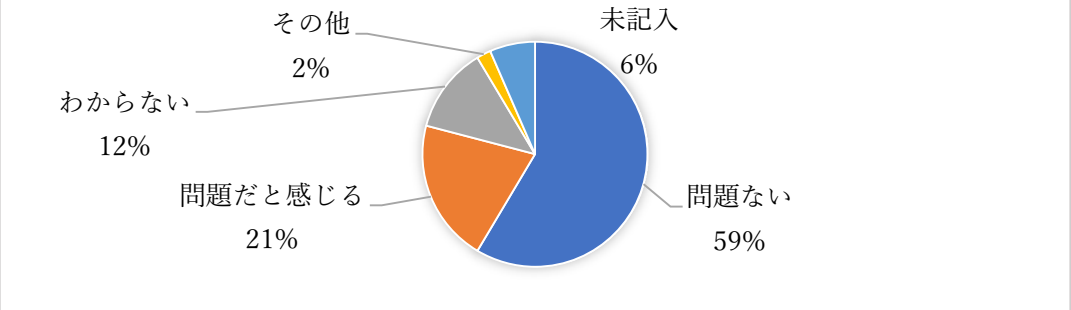
21. 実習記録について、困っていることはなんですか？（複数回答可）

回答欄	件数	%
見る時間が足りない	133	45.55%
養成校によって様式が異なるのが不便	108	36.99%
実習生の記録の内容が（何を伝えたいか）わからない	64	21.92%
困ったことは無い	35	11.99%
どのように指導記入したら良いかわからない	22	7.53%
評価するポイントがわからない	16	5.48%
いつ返却したら良いかわからない	1	0.34%
その他	29	9.93%



22. 実習記録が養成校によって異なることについて、どのように感じますか？

回答欄	件数	%
問題ない	171	58.56%
問題だと感じる	60	20.55%
わからない	36	12.33%
その他	6	2.05%
未記入	19	6.51%
合計	292	100.00%

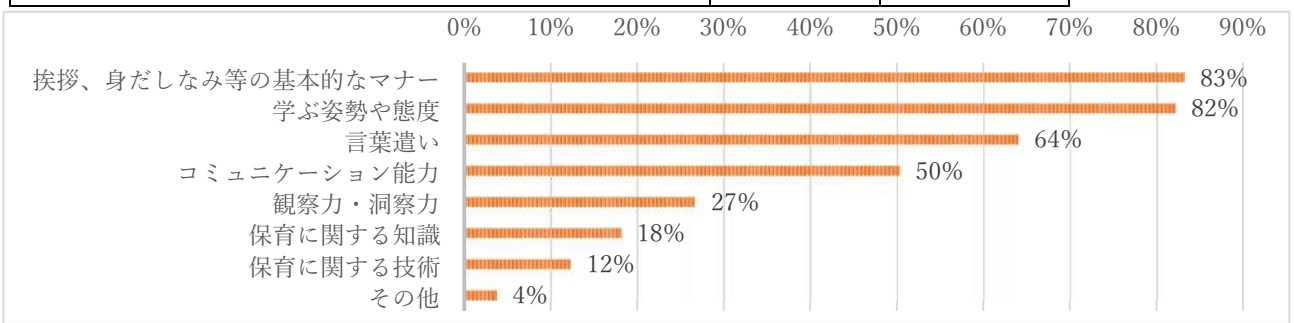


22-2.「問題だと感じる」と回答した場合、どういった点が問題だと感じていますか？(抜粋)

記録を添削する時間について	**7 件**
・時間のない中、様式が同じ方が見やすい。 ・2 校同時に実習に来られた場合、異なるものだと見るのに時間がかかる。一緒だと見やすいと感じる。	
指導･評価について	**29 件**
・様式がバラバラの為、多少評価の観点が異なってしまう節がある。 ・同じ様式だと一貫した指導ができる。異なると記録の仕方や見方も異なってきて指導側も調べたり等、時間が必要になることもある。 ・書式が違う。ねらいと内容に分かれていない。環境構成があったり、なかったりする。感想も学校によって書き方が違う。	
実習生自身が書き方をわかっていないことに対して	**5 件**
・学生が記録の記入方法を理解していないことが多く、こちらも分からないことがある。 ・学生の多くが記録をとる意義をあまり理解できていないように感じます。	
その他	**16 件**
・養成校に合わせるしかない。 ・養成校によって違うと差も出てくるので、何を重んじるのかという所は統一されている方がよい。 ・様式が様々で細かく数ページにわたる事もあり、実習生に負担だと感じる。実習記録だけでしんどくなる生徒もいる。	

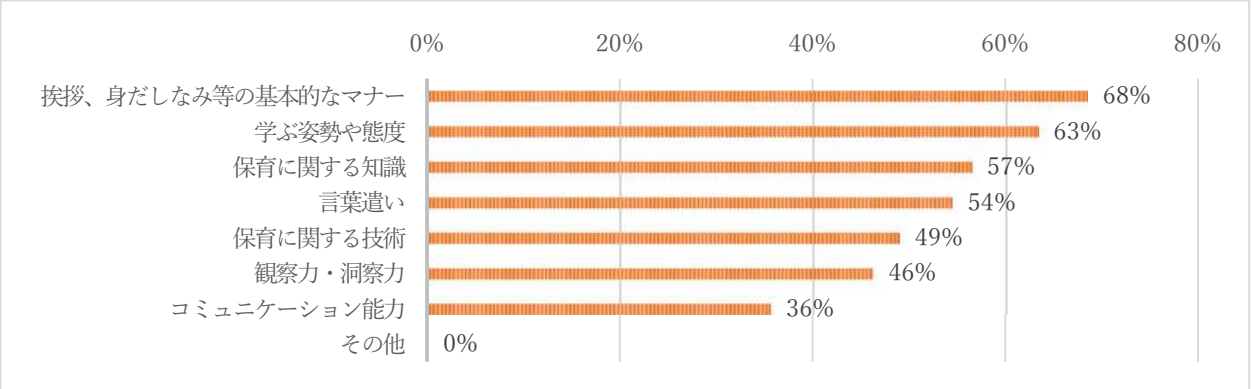
23. 実習生が保育実習前に身に付けていて欲しいことを教えてください。(複数回答可)

回答欄	件数	%
挨拶、身だしなみ等の基本的なマナー	243	83.22%
学ぶ姿勢や態度	240	82.19%
言葉遣い	187	64.04%
コミュニケーション能力	147	50.34%
観察力・洞察力	78	26.71%
保育に関する知識	53	18.15%
保育に関する技術	36	12.33%
その他	11	3.77%



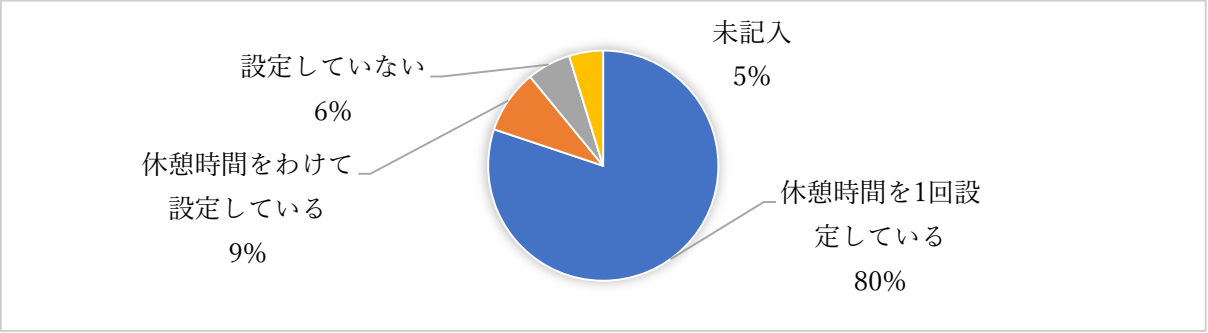
24. 保育実習で指導している内容を教えてください。（複数回答可）

回答欄	件数	%
挨拶、身だしなみ等の基本的なマナー	200	68.49%
学ぶ姿勢や態度	185	63.36%
保育に関する知識	165	56.51%
言葉遣い	159	54.45%
保育に関する技術	143	48.97%
観察力・洞察力	135	46.23%
コミュニケーション能力	104	35.62%
その他	0	0.00%



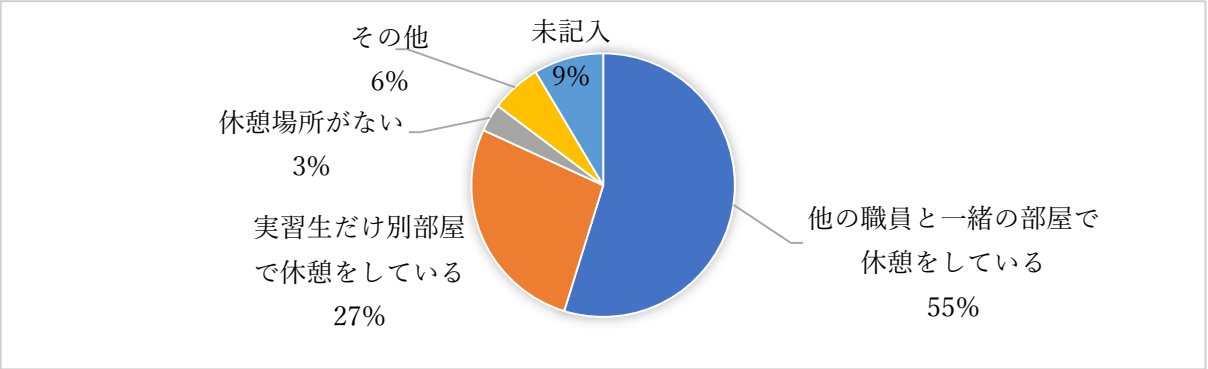
25. 実習生の休憩時間はどのように設定していますか？

回答欄	件数	%
休憩時間を１回設定している	234	80.14%
休憩時間をわけて設定している	26	8.90%
設定していない	18	6.16%
未記入	14	4.79%
合計	292	100.00%



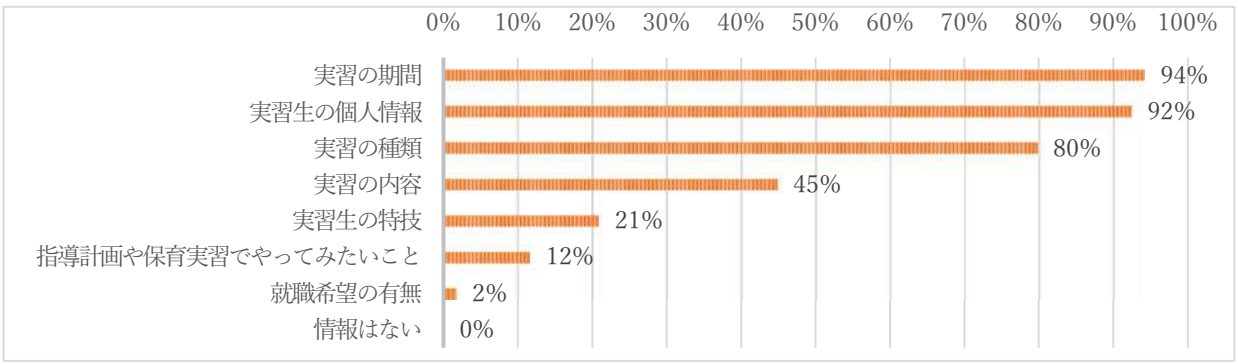
26. 実習生の休憩場所はどうしていますか？

回答欄	件数	%
他の職員と一緒の部屋で休憩をしている	160	54.79%
実習生だけ別部屋で休憩をしている	79	27.05%
休憩場所がない	10	3.42%
その他	18	6.16%
未記入	25	8.56%
合計	292	100.00%



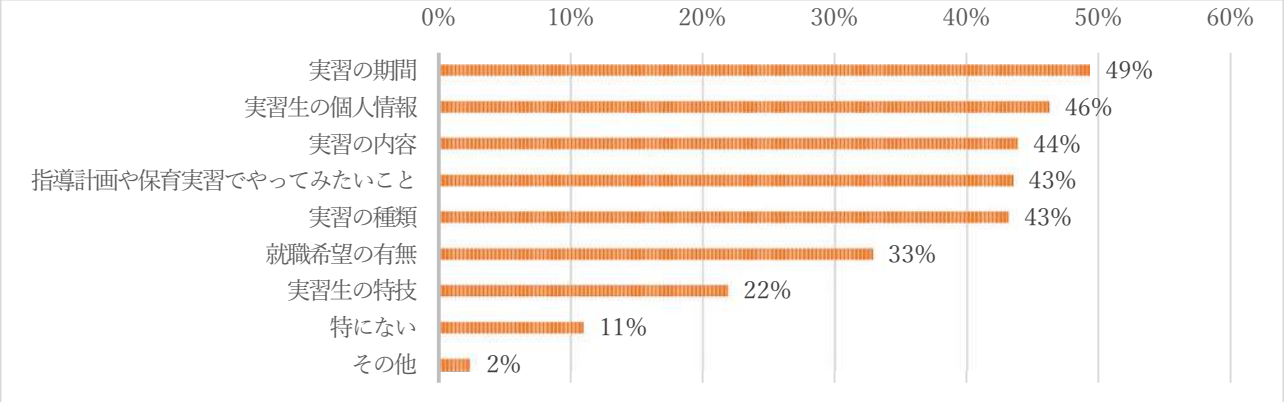
27. 実習前に養成校から実習生について知らされる情報はどのようなことですか？
（複数回答可）

回答欄	件数	%
実習の期間	275	94.18%
実習生の個人情報	270	92.47%
実習の種類	233	79.79%
実習の内容	131	44.86%
実習生の特技	61	20.89%
指導計画や保育実習でやってみたいこと	34	11.64%
就職希望の有無	5	1.71%
情報はない	0	0.00%
その他	0	0.00%



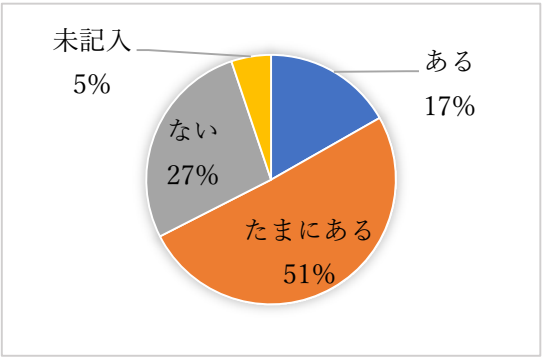
28. 実習前に実習生について教えて欲しい情報はありますか？（複数回答可）

回答欄	件数	%
実習の期間	144	49.32%
実習生の個人情報	135	46.23%
実習の内容	128	43.84%
指導計画や保育実習でやってみたいこと	127	43.49%
実習の種類	126	43.15%
就職希望の有無	96	32.88%
実習生の特技	64	21.92%
特にない	32	10.96%
その他	7	2.40%



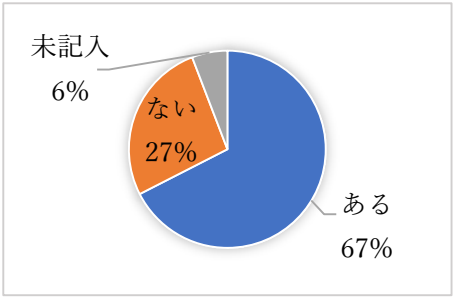
29. 実習生が資格取得だけの実習であるとわかったり、感じたりすることはありますか？

回答欄	件数	%
たまにある	148	50.68%
ない	80	27.40%
ある	49	16.78%
未記入	15	5.14%
合計	292	100.00%



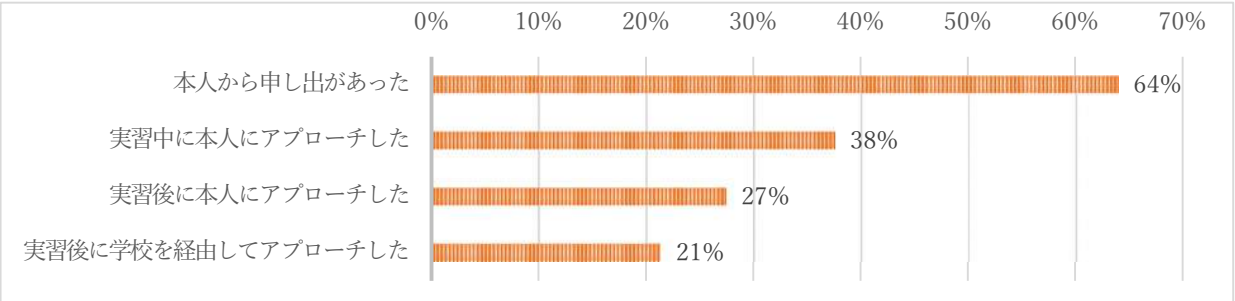
30. 実習生が貴施設の就職につながった場合はありますか？

回答欄	件数	%
ある	197	67.47%
ない	78	26.71%
未記入	17	5.82%
合計	292	100.00%



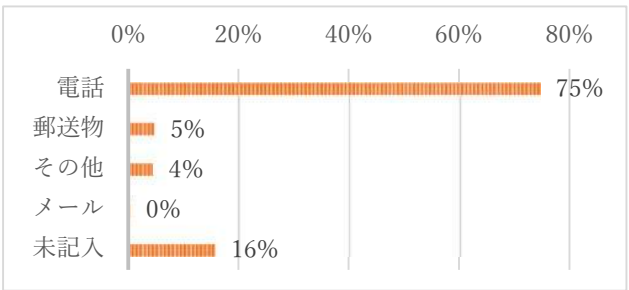
30-2. あると回答した場合、どのようにアプローチしましたか？（複数回答可）

回答欄	件数	%
本人から申し出があった	126	63.96%
実習中に本人にアプローチした	74	37.56%
実習後に本人にアプローチした	54	27.41%
実習後に学校を経由してアプローチした	42	21.32%



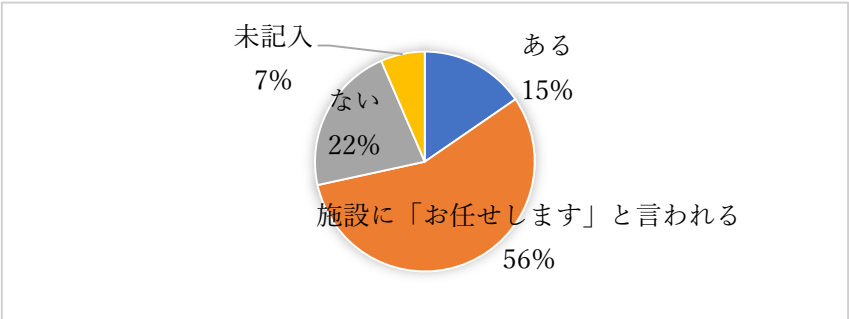
31. 実習で養成校の巡回教員と施設担当者との連絡手段はどうしていますか？

回答欄	件数	%
電話	218	74.66%
郵送物	14	4.79%
メール	1	0.34%
その他	13	4.45%
未記入	46	15.75%
合計	292	100.00%



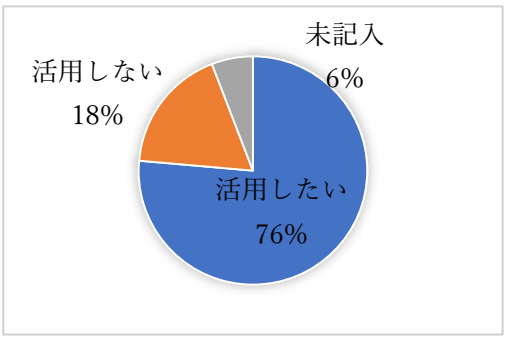
32. 養成校からは実習の種類に応じて、具体的な実習内容の提示や実施の要望がありますか？

回答欄	件数	%
施設に「お任せします」と言われる	164	56.16%
ない	64	21.92%
ある	45	15.41%
未記入	19	6.51%
合計	292	100.00%



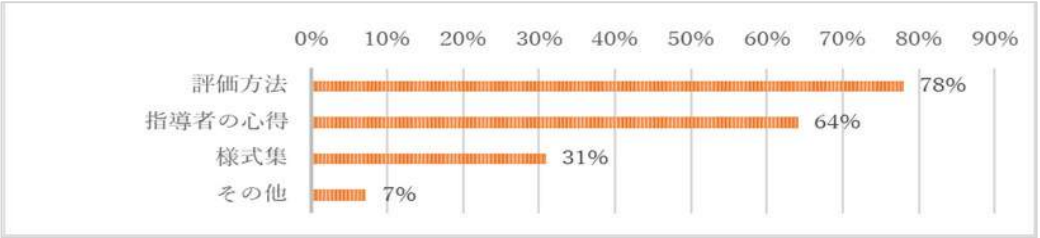
33. 実習生の受け入れについて指導内容や指導方法が具体的に示された「実習のてびき」があると、活用しようと思いますか？

回答欄	件数	%
活用したい	223	76.37%
活用しない	52	17.81%
未記入	17	5.82%
合計	292	100.00%



33-2. 活用したいと回答した場合、実習のてびきの内容にどのような内容を求めますか？

回答欄	件数	%
評価方法	174	78.03%
指導者の心得	143	64.13%
様式集	69	30.94%
その他	16	7.17%



34. 実習生に関して、困ったことや改善してほしいこと、要望があれば教えてください。（抜粋）

一般常識（マナー）に関して	27 件
・あまりにも基本的なマナーや挨拶ができない学生に関しては、実習前に大学での指導を考えてほしい。 ・保育の技術などは働きながら習得できることですが、あいさつや目上の人としゃべるマナーなどは実習に来る前にきちんと教えていただきたいです。 ・事前訪問の時間を守る。服装（髪の毛の色）、態度など基本的なことは学校で指導してほしい。また検便を提出しなければならない必要性（小さい子どもがいる施設である）を周知してほしい。 ・基本的生活習慣が身についていないこと。箸の持ち方、スリッパを揃える、活動しやすい衣服を身に着ける、食べ方、挨拶、返事など。 ・日誌など提出期限を守らない。日誌の内容の中で保育者に確認をして記入する欄（ねらい、人数等）を自ら聞かないで記入せず、空白のまま指導者に提出することがある。	
実習生の態度・意欲に関して	**59 件**
・あからさまに保育園には、就職しないことを言う学生がいるので、指導する立場からすると心構えとしてもう少し謙虚な気持ちで臨んでほしい。 ・“子どもが好き”と思ってもらえるよう受け入れ指導をしていますが、本人のやる気が全く感じないと指導する意味を考えてしまいます。 ・「こども園では仕事したくない。幼稚園がいいです」とはっきり言った学生もいましたが、最低限思っていても口に出さない指導をお願いします。自分の気持ちも黙っておけないのであれば守秘義務の仕事に就く事は大丈夫なのか？と考えてしまいます。「もう、就職が決まっているので」等も同様。 ・実習記録や指導案の書き方がよく分かっていないようで、環境構成や援助等どう書けばよいのか養成校でしっかり勉強してから実習に来てもらいたい。 ・実習記録で訂正や指導があった箇所についてはその後の実習記録に反映して頂きたいと思います。 ・実習記録で流行り文字や誤字が目立つ。記録のとり方などもう少し学んできて欲しい。 ・最近はメンタルの弱い学生、知識はあるが実際現場に入ると知識と一緒にならない為、保育・教育が展開できない学生が少し増えているように感じる。その為、声をかけると泣いてしまったり、子どもの目線になって一緒に遊んだりする事ができなかったりする姿があり、対応・指導の仕方に困る事がある。失敗しても良いのでチャレンジ精神を持って実習に臨み有意義な実習期間を送って欲しいと思う。 ・実習生によりますが指示を待つのではなく、積極的に取り組む姿勢が欲しい。 ・園側の指示に従わない。（例）ウィルス性の病気の疑いがあるのに病院に行かず、休みを与え受診を促しても自己判断で行かず次の日に出勤した。 ・実習生それぞれ、性格等は違うが、挨拶や返事、子ども達や保護者に対しての態度など、丁寧で声も大きいと安心できます。指示したことが分からなかった時など、自分で判断して行うことなく、何度でもたずねてもらえると嬉しいし、実習生も職員にとっても良い経験となると感じる。	

・実際に子どもの前に立って実践することはとても勉強になると思いますので、実習に来るにあたって手遊び、絵本の読み聞かせ等、簡単なものを準備してきていただけたら、こちらは出来るだけ時間を取って行っていただくようにします。有意義な実習期間にしていただきたいと思います。

その他	**17 件**
・態度等で困ったことはありません。素直な子が多いです。が、向上心に欠ける方が多いと感じます。その点がもう少し改善できればと思います。 ・来てもらっているだけで嬉しいです。実習生による園評価もフィードバックしてもらえたら嬉しいです。 ・実習生から学ぶこと、反省すること、課題が見つかることが多いですね。 ・意欲的に取り組んでいただければ大歓迎です。	

35. 養成施設に関して、直接言えないような困ったことや改善してほしいこと、要望があれば教えてください。(抜粋)

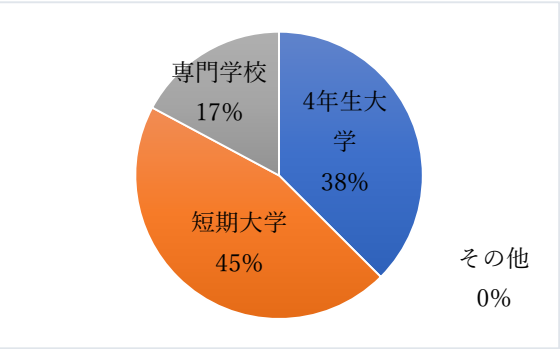
一般常識(マナー)に関して	10 件
・最低限の言葉づかいや挨拶、マナーについては、大学からも学生に指導していただけたらと思う。 ・突然電話をしてきて「いつ実習受け入れが可能ですか？」といきなり聞いて来る事があった。	
実習生の態度・意欲に関して	**13 件**
・就職する気のない実習生でも、地元の園で実習することを進めているが、まったく気持ちの変わらない実習生に対しては養成校の園で実習させてほしい。 ・実習の目的をしっかり理解できる指導をまずはお願いしたい。 ・実習に参加する学生は保育について学びたいだろうと理解しているので、担当保育士は精一杯対応するが、学生も保育の事を学ぶのだと心構えを持ってきてほしい。	
実習記録・指導案のこと	**20 件**
・実習生が育つ為の学校側のねらいや要望をはっきり示して欲しい。園側に任せると言われても学校で学んだ記録のとり方が園の指導と異なると実習生が困惑する。授業で実習記録の取り方や文章の作成のコツ、保育のねらいや活動の重要な視点を十分に学んでおくと、実習生は精神的、時間的にも楽になると思う。毎日５時間を要し毎日修正され、後半はフラフラで気の毒です。 ・実習生も受け入れの指導者も一番大変なところは実習記録です。予め授業で学ぶ機会があればこちらも負担無く指導することができます。授業で具体的にご指導いただければ嬉しく思います。 ・実習ノートを手書きで記入するのは当然のことのように行われており、それも実習する上では必要なことかもしれませんが、指導案（保育日案）については、今は現場は全てパソコンで作成しているので、できればパソコンで作成する方法も指導しておいてもらえたらと思います。 ・実習記録は大切ではあるが、朝・夕など同じ活動になっているので、設定（午前中の保育）時間を重視して記入してもらっています。時系列で記入することよりも、一日の振返りをして気づいたことや、子どもとの関わりについて記録を付けてもらうことで就職しても役立つような記録の書き方にしてもらえればと思います。指導案は勤めても記入するので、部分実習や半日実習の際に必要だとは思います。 ・評価票は各養成校の様式で評価しているが、点数の配分が様々だったり、つけ難かったりするところがある。	
その他	**30 件**
・実習時期を学校が決めて日を申し込んでくる。受けるしかないので、時期を選ぶか、いつ頃が都合がいいか園に尋ねて欲しいと思う。 ・学校によって、実習費の要不要を問われることがあるので困惑する。 ・個人差がありますが、コミュニケーション能力が低い生徒については関わり方や指導（具体的）を事前に知らせてほしいです。また、残念ですが保育士に向かない生徒に対しての指導がないこと、その趣旨を伝えたところ学校側は運営のことや卒業させる	

ことだけしかなかったことに残念でした。やはり資質を見極めることも大事だと思います。
・評価票ですが、不合格と感じる方にもふつう（合格ライン）で評価を提出する。不合格で評価されても問題はないと思うが・・・。
・メンタル面、身体面で少し障害を思われる生徒さんは事前に知らせていただきたい。他園での困った状況を聞くが、学校側から何の情報も無い。子どもの命を預かっている場なので、情報は共有し受け入れたい。
・「単位さえとらせれば良い」というような実習になってはいないでしょうか。子どもたちのために「こういう実習をさせてくれ」という大学の思いが伝わるような事前説明が欲しいです。
・実習においてはどこまでの指導が必要なのか、何を基準に評価をすれば良いのかはっきりしないので、園の主観になっている。果たして実習生にとって良いのかどうか、疑問に思う。

保育士養成校を対象としたアンケート　結果

1．貴学の種類について教えてください。

回答欄	件数	%
4 年生大学	24	37.50%
短期大学	29	45.31%
専門学校	11	17.19%
その他	0	0.00%
合計	64	100.00%

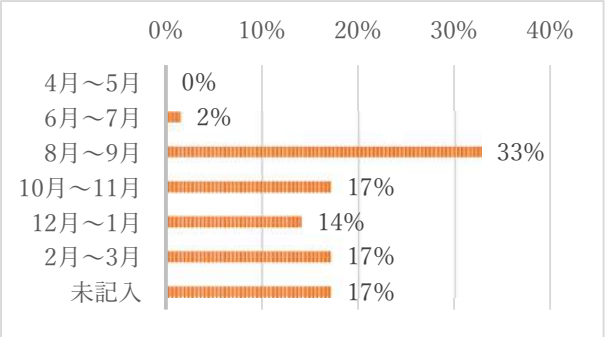


2. 貴学生徒の実習時期は決まっていますか？

回答欄	件数	%
決まっている	64	100.00%
決まっていない	0	0.00%
合計	64	100.00%

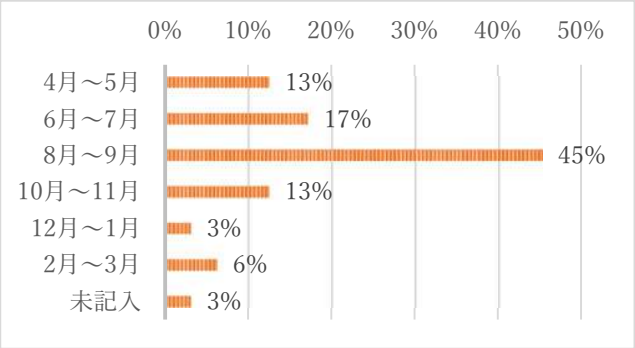
2-2. 決まっていると回答した場合、保育実習Ⅰはどの時期に実習を設定していますか？

回答欄	件数	%
4 月～5 月	0	0.00%
6 月～7 月	1	1.56%
8 月～9 月	21	32.81%
10 月～11 月	11	17.19%
12 月～1 月	9	14.06%
2 月～3 月	11	17.19%
未記入	11	17.19%
合計	64	100.00%



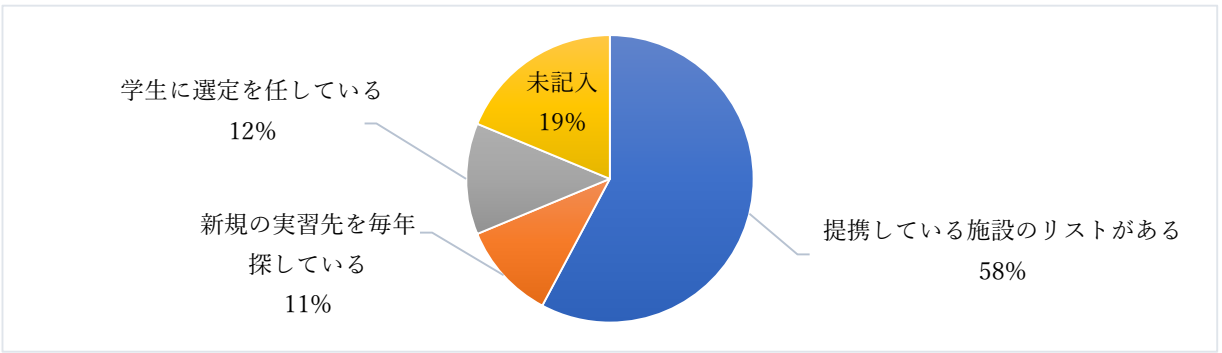
2-3. 決まっていると回答した場合、保育実習Ⅱはどの時期に実習を設定していますか？

回答欄	件数	%
4 月～5 月	8	12.50%
6 月～7 月	11	17.19%
8 月～9 月	29	45.31%
10 月～11 月	8	12.50%
12 月～1 月	2	3.13%
2 月～3 月	4	6.25%
未記入	2	3.13%
合計	64	100.00%



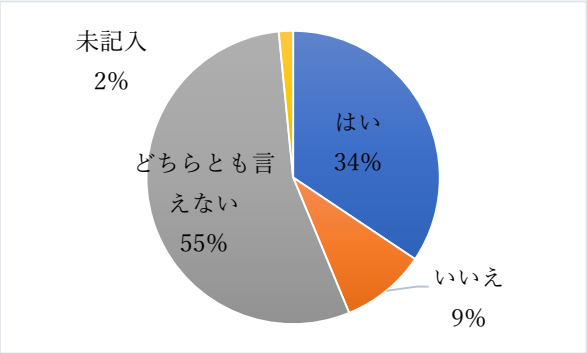
3. 保育実習の施設はどのようにして決定していますか？

回答欄	件数	%
提携している施設のリストがある	37	57.81%
学生に選定を任している	8	12.50%
新規の実習先を毎年探している	7	10.94%
未記入	12	18.75%
合計	64	100.00%



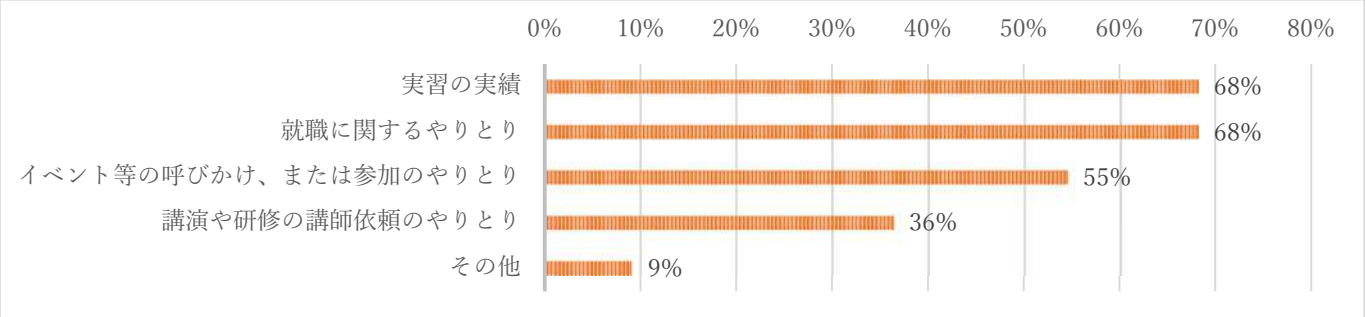
4. 実習先は普段から交流のある施設ですか？

回答欄	件数	%
どちらとも言えない	35	54.69%
はい	22	34.38%
いいえ	6	9.38%
未記入	1	1.56%
合計	64	100.00%



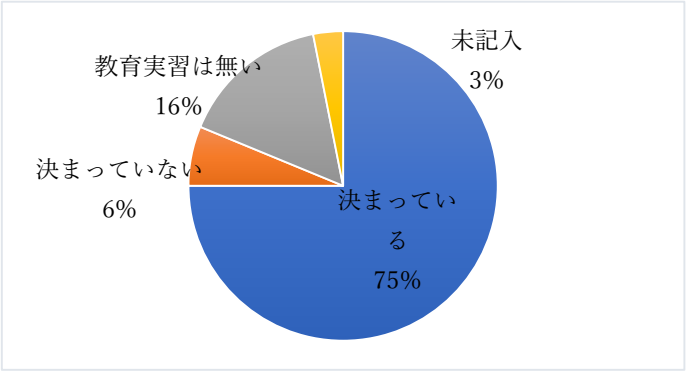
4-2. はいと回答した場合、普段からの交流はどのようなことが多いですか？（複数回答可）

回答欄	件数	%
実習の実績	15	68.18%
就職に関するやりとり	15	68.18%
イベント等の呼びかけ、または参加のやりとり	12	54.55%
講演や研修の講師依頼のやりとり	8	36.36%
その他	2	9.09%



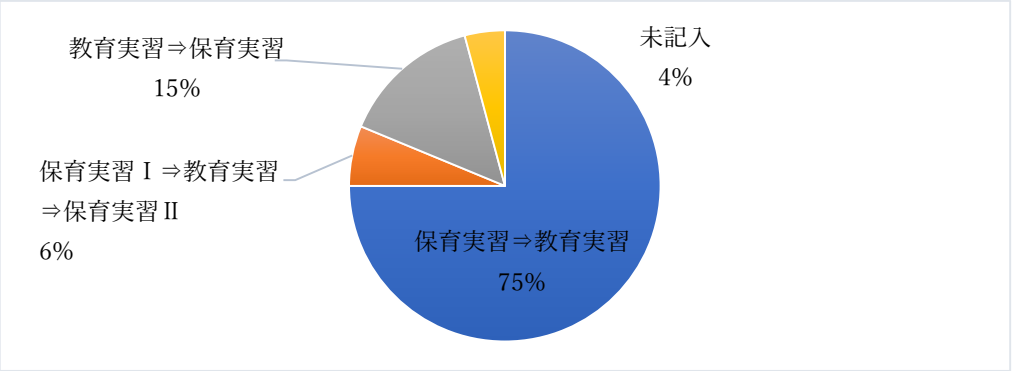
5. 保育実習と教育実習がある場合、実習の実施する順番は決まっていますか？

回答欄	件数	%
決まっている	48	75.00%
教育実習は無い	10	15.63%
決まっていない	4	6.25%
未記入	2	3.13%
合計	64	100.00%



5-2. 決まっていると回答した場合、その順番と理由を教えてください。

回答欄	件数	%
保育実習⇒教育実習	36	75.00%
教育実習⇒保育実習	7	14.58%
保育実習Ⅰ⇒教育実習⇒保育実習Ⅱ	3	6.25%
未記入	2	4.17%
合計	48	100.00%



★「保育実習」⇒「教育実習」と回答の理由

◆カリキュラムの都合・・・12 件

◆発達の過程・・・・・・・ 4 件

◆その他・・・・・・・・・ 3 件

・実習担当者ではないのでわからない。

・保育園のほうが指導が柔軟だ（と思う割合が高い）から。

・学生の負担を減らすため。

★「教育実習」⇒「保育実習」の回答の理由

・どちらの実習も毎年時期が決まっているため。

・以前より学校のカリキュラムにおいて決められているので、個人的な理由としては分かりません。

・幼稚園で隔週実習を経験してから保育実習Ⅰに行くようにしている。

・附属幼稚園があるため。

・特に理由は無い。

★「保育実習Ⅰ」⇒「教育実習」⇒「保育実習Ⅱ」

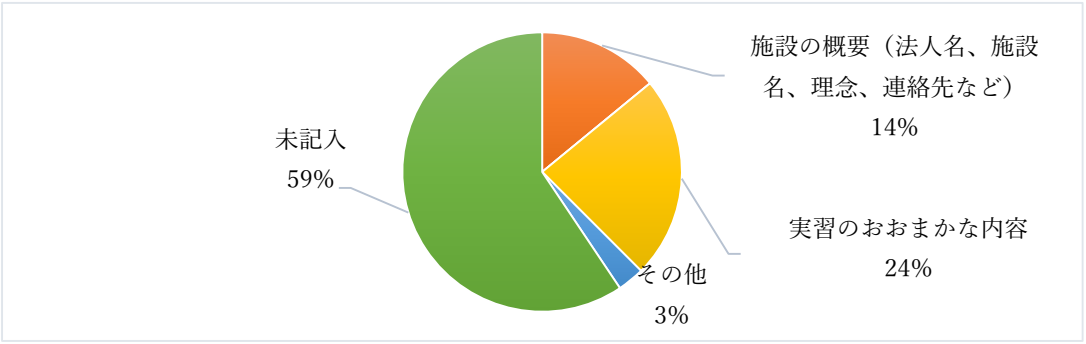
・教育実習は 4 週間なので、その前に 10 日間の実習経験は必要だから。

・教育実習に 4 週間まとめていくまでに保育所実習の経験が必要と考えるから。

・3～5 歳児の実習後に 0～未満児の実習の方がスムーズであるため。

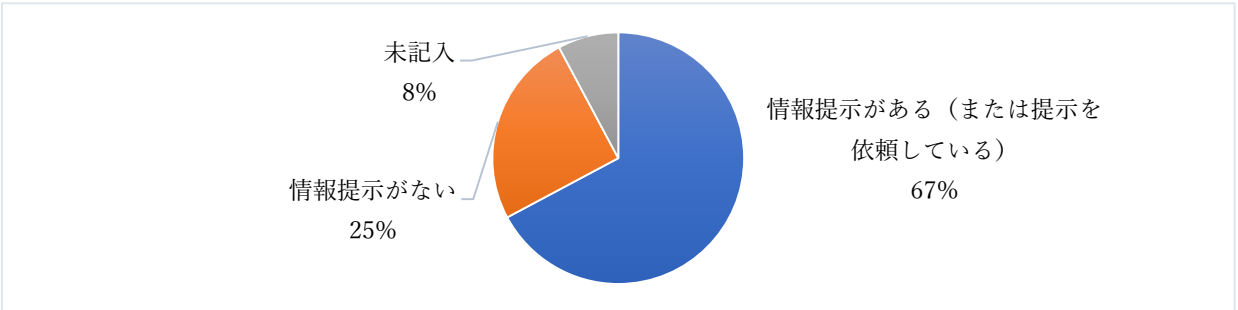
6. 実習前で知っておきたい施設の情報はどのような内容ですか？

回答欄	件数	%
実習のおおまかな内容	15	23.44%
施設の概要（法人名、施設名、理念、連絡先など）	9	14.06%
知りたい情報はない	0	0.00%
実習の担当者名	0	0.00%
その他	2	3.13%
未記入	38	59.38%
合計	64	100.00%



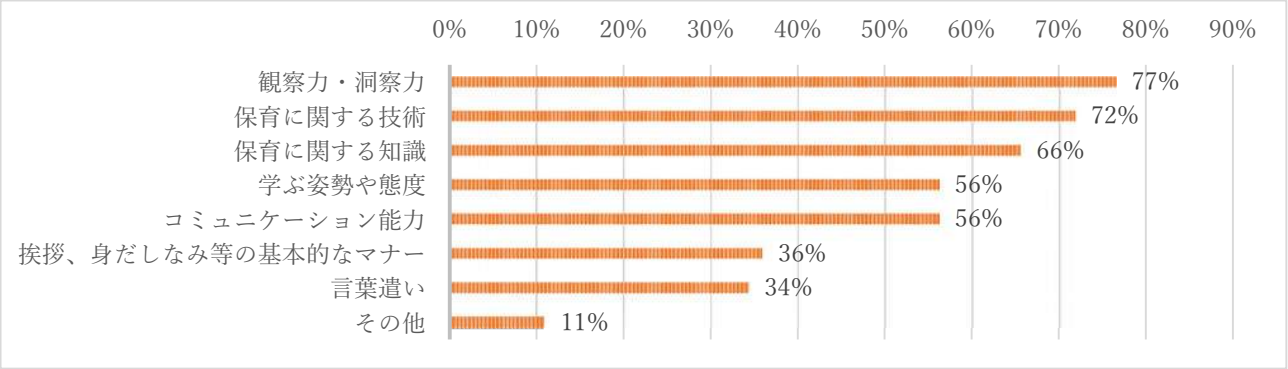
7. その情報は事前に施設から情報の提示がありますか？

回答欄	件数	%
情報提示がある（または提示を依頼している）	43	67.19%
情報提示がない	16	25.00%
未記入	5	7.81%
合計	64	100.00%



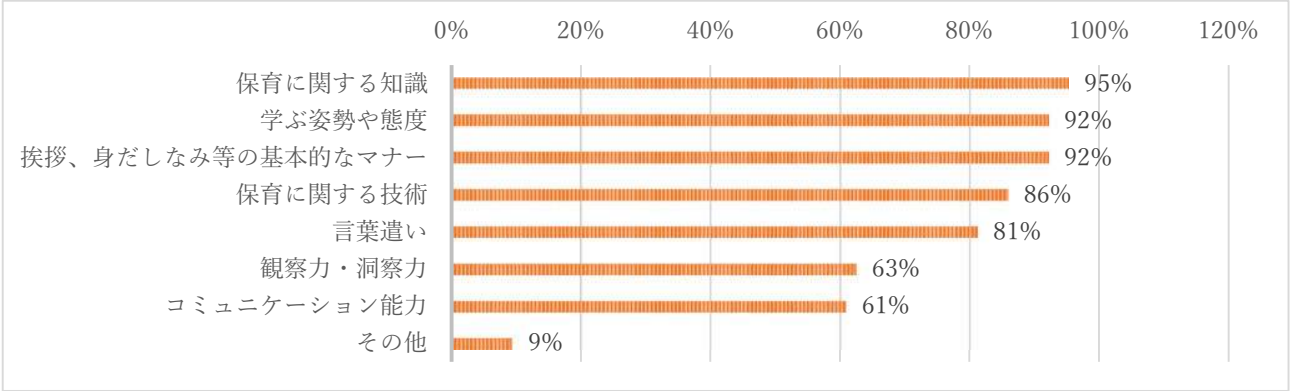
8. 実習生が保育実習後に身に付けていて欲しいことを教えてください。（複数回答可）

回答欄	件数	%
観察力・洞察力	49	76.56%
保育に関する技術	46	71.88%
保育に関する知識	42	65.63%
学ぶ姿勢や態度	36	56.25%
コミュニケーション能力	36	56.25%
挨拶、身だしなみ等の基本的なマナー	23	35.94%
言葉遣い	22	34.38%
その他	7	10.94%



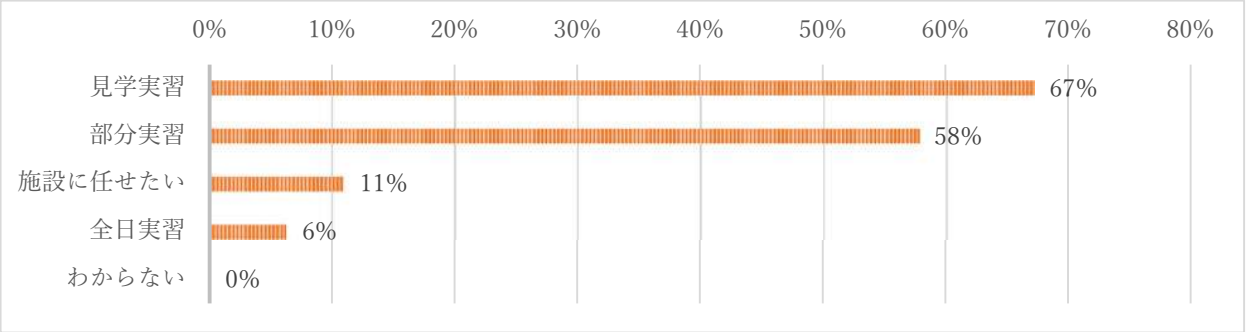
9. 貴学で実習生に指導している内容を教えてください。（複数回答可）

回答欄	件数	%
保育に関する知識	61	95.31%
学ぶ姿勢や態度	59	92.19%
挨拶、身だしなみ等の基本的なマナー	59	92.19%
保育に関する技術	55	85.94%
言葉遣い	52	81.25%
観察力・洞察力	40	62.50%
コミュニケーション能力	39	60.94%
その他	6	9.38%



10. 保育実習Ⅰで指導して欲しい内容を教えてください。具体的な内容があれば教えてください。

回答欄	件数	%
見学実習	43	67.19%
部分実習	37	57.81%
施設に任せたい	7	10.94%
全日実習	4	6.25%



★見学実習の具体的な内容（抜粋）

・参加実習もお願いしたいです。
・主に見学しながら子どもと実際に関わる中での注意事項（その都度でないとわからないこと）。
・手遊び、絵本の読み聞かせ、わらべ歌などの部分的な体験。
・保育現場で学生の観察力、洞察力を伸ばしていただきたい。
・子どもの年齢による発達の違いや、保育士の職務内容全般等、保育士として働く上での基本的な事項を体験させていただけるとありがたいです。
・日誌の書き方。
・保Ⅱ（保育所）を経験しないで保Ⅱ（施設）を経験する学生が少数ですがいますので、実習Ⅰでも部分・全日を体験させていただきたいです。
・指導計画と実践のつながり。
・子ども理解が重要。

★部分実習の具体的な内容（抜粋）

・どうすれば注目を集める保育ができるのか。まだ話すことができない子どもにどういう言葉掛けをすれば良いか。
・子どもとの関わり方、安全面の配慮、環境構成、記録の書き方。
・実際に子どもの前にたち活動を行う機会をたくさんいただけるとありがたいです。
・存生の裁量でまずやってみる経験を保証していただきたい。
・保育者としての姿勢・態度。子どもと関わる楽しさや責任。
・指導計画と実践のつながり。
・部分実習 1～2 回。

★全日実習の場合

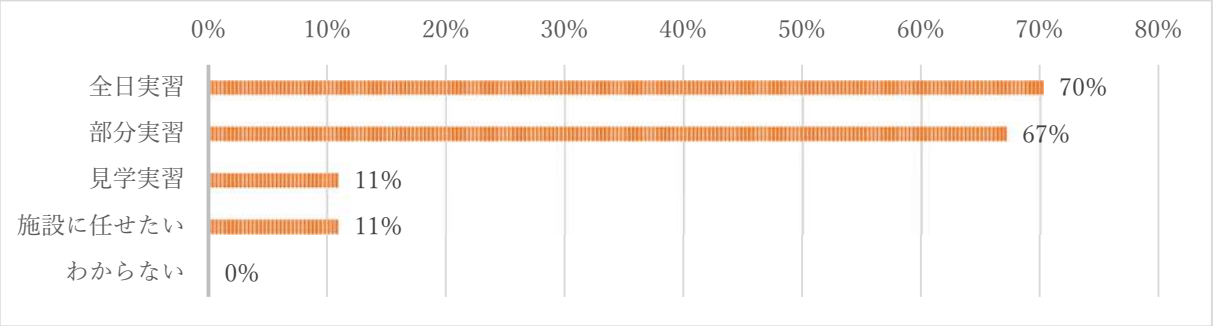
（回答なし）

★その他（抜粋）

・保育士になってからの生活など、体験談。
・1 時間程度の部分実習。
・主に見学実習になると思うが、学生の状況によっては様々なことを経験させてやっていただきたい。

11. 保育実習Ⅱで指導して欲しい内容を教えてください。具体的な内容があれば教えてください。

回答欄	件数	%
全日実習	45	70.31%
部分実習	43	67.19%
見学実習	7	10.94%
施設に任せたい	7	10.94%



★部分実習の具体的な内容

・部分実習 1～2 回。
・保育現場で学生の知識、技術を伸ばしていただきたい。
・必ず責任実習をさせていただきたい。

★全日実習の具体的な内容

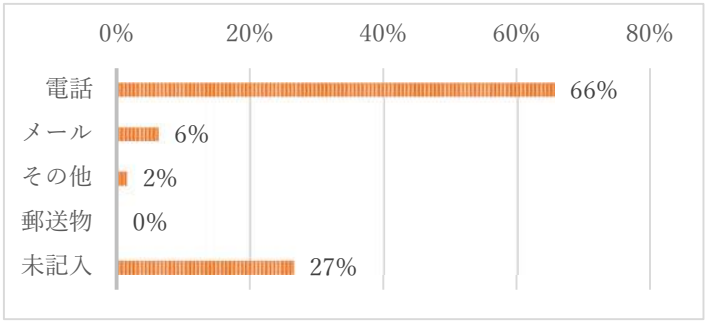
・全日実習 1～2 回。
・「気になる子」への適切な対応の仕方。絶対にしてはいけないこと。(NG の言葉、NG の行動)
・子どもの実態と保育課程を踏まえて計画、実践、評価することの大切さを指導いただきたい。
・指導案を書いての責任実習。

★その他の具体的な内容

・導入方法、肯定的な言葉遣い、子どもの人権人格の大切さ。
・子どもへの援助の方法、記録・指導案の書き方。
・指導案の立て方、準備の仕方、部分保育・設定保育の進め方、・子ども主体の活動への視点や言葉のかけ方。
・保育者としての責任感と保育の面白さ、奥深さ。

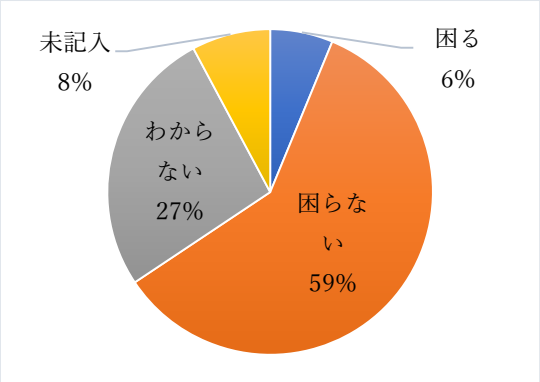
12. 実習で貴学巡回教員と施設担当者の連絡手段はどうしていますか？

回答欄	件数	%
電話	42	65.63%
メール	4	6.25%
その他	1	1.56%
郵送物	0	0.00%
未記入	17	26.56%
合計	64	100.00%



13. 実習記録の様式は指定したものや、統一したもので記入を依頼すると、貴学の指導や評価で困りますか？

回答欄	件数	%
困らない	38	59.38%
わからない	17	26.56%
困る	4	6.25%
未記入	5	7.81%
合計	64	100.00%



14. 実習施設に直接言えないような困ったことがあれば教えてください。(抜粋)

指導者等の対応について	11 件
・実習生の悪口を実習生が聞こえる場所で言うし、職員同士の悪口を実習生の前で言う。 ・実習園で職員の方同士の関係が悪かったり、悪口を言っているのを聞くことが辛いという学生が複数いました。 ・子どもや学生の前で先生方同士や保護者の悪口を言っておられるということは聞きます。そのような園には、学生たちは一番就職したくないと言ってきます。学生は現場に夢と理想を持っていますので。 ・実習先の先生方の言葉遣いや子どもに対する態度。 ・教師主体の保育現場を見て学生が就業意欲をなくすケースがある。(例)いつも怒っている。怒鳴り散らしている。高圧的な保育をさせる。命令する保育など。翌年より、実習は遠慮する形で対応している。 ・園長先生から、実習生が「保育士に向いていない」とはっきり言われ、本人の学習意欲が著しく低下してしまった。 ・実習中に園側が就職の勧誘をしてくるため、実習生は実習評価に響くのではないかと心配して対応に困っているという訴えが年々増加している。 ・実習巡回時に就職のことを話されると困る。	
実習生に対する対応について	**11 件**
・実習生を雑用のみに使う。 ・評価について、科学的根拠がない表現が見られる。 ・実習生の評価ができない（態度・能力がなかったのだと思う）と実習の評価がチェックされず白紙で返ってきた。すべて「不可」でチェックをされていれば実習のやり直しとして実習生にも伝えられるのだが…。 ・実習評価が極端に悪いときは、実習中に連絡していただき施設側と共通理解のもと指導していくようにしてもらいたい。評価をみてからでは事後指導に十分生かすことができない。 ・能力が低くても人格を否定されるような言動や態度は控えて欲しい。 ・おとなしい性格の学生が自分から責任実習に（部分実習）をさせてくださいと言い出さなかったことがありました。その保育園では「学生さんが自主的にしたいとおっしゃらなかったのであえて部分実習の時間は取りません。実習では積極性が大切です。こちらも忙しい中実習を受けています。やる気の感じられない方に割く時間はありません」と巡回訪問時に言われました。学生にも非があるかもしれませんが、「部分実習してみますか？」と尋ねていただくこともなかったようです。申し訳ありませんが、以後その園には実習をお願いしないことにしました。 ・観察実習の時に各歳児を見学させていただくのは有難いのですが、学生は短期間で担当の子どもの名前、発達の違いを覚えることが難しく、気づかいや戸惑いの方が大きく、慣れることに精一杯で印象に残ることが少ないようです。また、実習Ⅱ（本実習）でも同じように各歳児に入る園があり、部分実習、研究保育となった時に子どもとの関係、担任との関係が浅く「コミュニケーションが上手に取れなかった」「保育	

に自信を無くす」と訴える学生がいます。現場の事情もあるかと思いますが、できるだけクラスの見学数を減らしてじっくり取り組めるようご配慮いただきたいと願います。 ・熱心にご指導頂いている事はよく分かりますが、何枚も記録の下書きをさせ実習終了後にも記録の提出をさせる園があります。授業が始まり、次の実習の準備もありますので記録は実習中に完結させて頂ければと思います。 ・保育実習Ⅰでは、指導案を数枚といってこられた園がありますが、見学実習なので日誌のみとしていただきたい。日誌もしっかりと指導しております。指導案の指導はしておりますが…。 ・保育実習Ⅱの責任実習の日数が多すぎて学生が疲れ切ってしまった。職員室内や保育士同士の会話で学生が不快に思うことが多く、同じ実習先に行きたくないと言い出す学生が出た。（ⅠとⅡは同じ所に行く）
子どもに対する対応について　2件
・まだ信頼関係ができていないのに、子どもに注意したり、怒ることができなくて困っています。ケンカの時や実習生に対して叩いてきた時など、優しく「やめてね」とは言いますが、伝わっているのでしょうか。 ・子どもの対応が厳しい（子どもにさせる保育、できない子どもを集団から外すなど）そんな場面を学生が見る。
その他　1件
・学生側と施設側の言い分が食い違ったまま中断、学生も保育職をあきらめたケース。

15. 実習施設に直接言えないような、要望や改善して欲しいことがあれば教えてください。
（抜粋）

施設全体に対して	15 件
・実習担当者によって、指導が違い過ぎる。園としての対応の大枠を決めていて欲しい。 ・実習に行く前に指導内容を検討し、用意していても、直前になって「それは無理。他の事をして」と言われ、戸惑う。前もって計画案は提出していたのに…。 ・事前に送っている関係書類が「送られてない」との問い合わせを受けた後、「ありました」というやり取りが数件ある。学校としても慎重に対応している内容のため、お気を付けいただきたい。 ・人間関係の悪さが学生に伝わるような雰囲気の改善。 ・先生方同士の保護者のうわさ話や愚痴を学生の前でしないでほしい。 ・学生の中には、休憩時間などに先生方が子どもや保護者、同じ園で働く職員の陰口や批判をされる場面を見聞きしショックを受けるものが少なからずいます。誰にでも仕事上の不満はあるでしょうから先生方が話されるのは仕方ないと思いますが、何とか実習生には聞かれないよう、休憩室を分けるなどご配慮いただけるとうれしい。 ・保育士としての仕事のやりがい、楽しさを伝えてほしい。 ・学生からの聞き取りでは、日誌や指導案を丁寧に添削して下さった園への印象はとても良く、就職先の候補に挙がっています。一方、ハンコのみが押してある場合は学生の評価があまり良くないようです。 ・本校では卒業年度の 3 月までしっかり指導したいと考えていますが、実習先で就職のお声をかけていただくこともあります。お声をかけてくださるのは本当に有難いのですが、学生が今まで認めてもらえたと有頂天になって、指導が入りにくくなることもあります。「4 月までにこんな技術を身につけてきてね」と具体的な課題をいただけるととても有難いです。 ・いつもありがたいと思っています。養成校とみなさんで一緒に学ぶ場があればと思います。 ・保育実習Ⅰでは以上児と未満児の 1 週間ずつと、保育実習Ⅱでは持ち上がりクラスを担当させて頂くと「成長がよくわかった」「子ども達が覚えていてくれて、名前を呼んでくれた」「1 日目から手を引っ張って遊びに誘ってくれた」等、楽しく実習できたことの報告が多かったです。不安や緊張が少ないと実習も積極的に取り組むことが可能なようです。保育が楽しいと感じられる実習方法、システムが統一されれば送り出す方も背中を押しやすいです。現場は大変お忙しく、ご指導も大変でしょうが宜しくお願い致します。 ・評価についての共通認識ができるような機会がほしい。 ・学生にとって学びになる保育の質の保証。	

指導者に対して	18 件

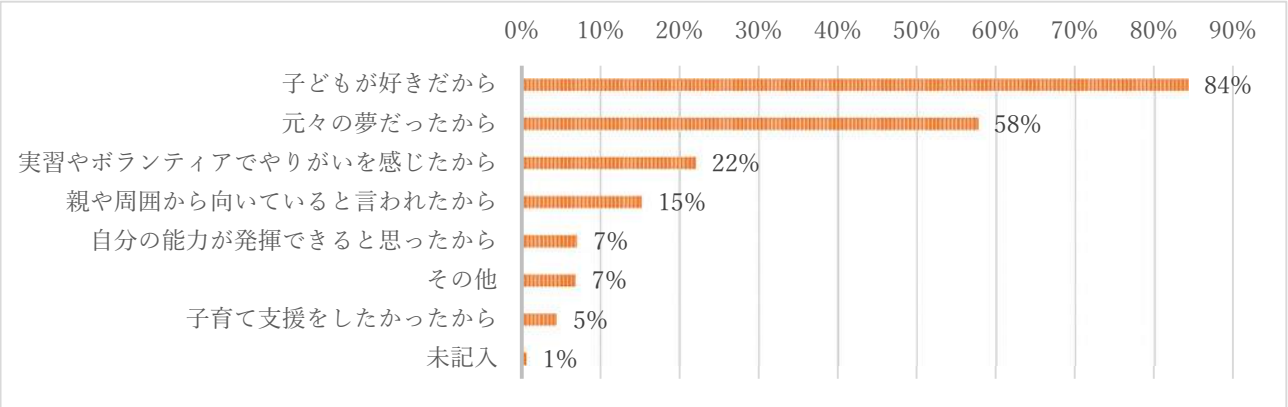
・たまに無表情の先生がおられるのですが、子ども達と接する時以外笑っていないので、もう少し笑ってもらえると顔色をうかがわずに済むので、そうして下さると嬉しいです。
・優しく指導をしてほしい。
・施設側職員の利用者への対応がひどすぎて実習を続けたくないという声がある。
・保護者や子どもの悪口を（午睡時等で）言う。
・学生から「先生同士の悪口を聞き嫌になった」と毎年のように聞きます。学生の前では控えて頂ければと思います。休憩時間がないのに「60 分と書いておいて」と言われる園があります。わずかな時間でも休憩は与えて頂きたいです。
・子どもへの不用意な言葉や振る舞い、態度。（たたいたり腕を引っ張ったりするのを見てしまった）
・実習生（本学生）の前で、通っている子どもたちが泣いてしまうほど大きな声で怒る等の威圧的な態度をとらないで欲しい。施設の先生方のそのような態度を学生に見せないで欲しい。
・実習が就職につながっていることを理解して指導してほしい。
・実習指導が可能な資質能力を有した保育士を実習担当者としてつけていただきたい。言えないことは基本的にございませんが、申し上げても致し方のないこともございます。資質能力に欠ける保育士としてふさわしくないと思われる人物が専任職として勤務されていること。入所児に実害のある発言があった。
・実習園や担当の先生の経験年数、また指導力によって実習日誌や指導案の書き方などの指導に随分差があるように思われます。仕方のないこととは思いますが、中には指導に少し疑問を感じることがあります。忙しい中、受け入れて下さっていることに感謝は致します。学生のご指導、どうぞよろしくお願い致します。
・実習生に対して指導をしていただきありがたいと思いますが、あまりにも要求が高い時には、学生によっては落ち込んでしまうので少々困ることがある。未来の保育者を育てるという意識をしっかり持って指導してもらいたい。
・実習生によって指導がバラバラのため、学生の経験に差が出るように思います。保育士になる人を増やすためでしょうか。この頃とても優しくご指導していただいているように思います。一方で、命を預かる仕事ですので、実習で自分の適切を見極める機会にもなっていると思うので、少し心配です。あまりゆるく実習が終わってしまうと、適性があまりない…という人も保育職を志し採用していただくようになり就職後にご迷惑をおかけしていることがあるように感じています。（要望というよりは申し訳ない気持ちです。）
・学生を差別化しないでほしい。複数で実習に行くとほんの少しのことで１名の学生を攻撃される方もいらっしゃるようです。
・指導案を事前に準備して書いてくるよう指示がある場合、指導案の「子どもの実態」について少しだけでいいので、差しさわりの無い情報を伝えてほしい。指導案を作成する際の基本から指導したいと思っているから。
・記録の添削が全く無く返却されると学生の学びに繋がらず課題が理解できない事がある。口答などの指導もしていただくとありがたいし、次への励みと意欲になる。

・実習受け入れをしてくれているのに、実習期間中、実習生にほとんど指示やフォローがなく、何をしていいのかわからなかったという声がある。
・実習生はあくまでも実習生なので、学生に任せて保育室から保育士がいなくなる状態が無いようにして頂きたい。度々、学生の話を聞いているとそのようなことが起こっているようである。実習訪問に行った時に、子ども達に午睡を実習生に任せて、職員会議をされている場面を見たこともあるので、子どもの安全や実習生の責任について見直して頂きたい。
・保育実習ⅠなのかⅡなのかも意識せず、即新任かと思うような指導に困惑するケースがある。ステップアップして意欲を高め、学んでいけるような段階的な指導を行っていただけるとありがたい。

実習生を対象としたアンケート　結果

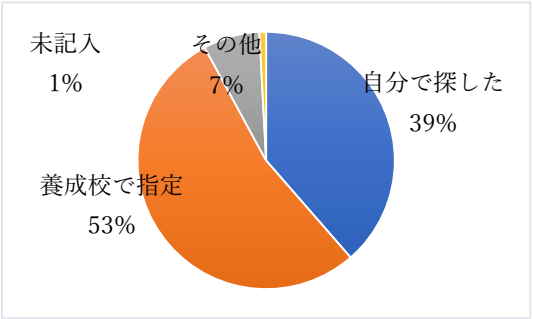
1. 保育士や保育教諭になりたいと思った理由を教えてください（複数可）

回答欄	件数	%
子どもが好きだから	393	84.33%
元々の夢だったから	269	57.73%
実習やボランティアでやりがいを感じたから	103	22.10%
親や周囲から向いていると言われたから	71	15.24%
自分の能力が発揮できると思ったから	33	7.08%
その他	32	6.87%
子育て支援をしたかったから	21	4.51%
未記入	3	0.64%



2. 実習先の施設はどのように選びましたか？

回答欄	件数	%
養成校で指定	249	53.43%
自分で探した	180	38.63%
その他	33	7.08%
未記入	4	0.86%
合計	466	100.00%

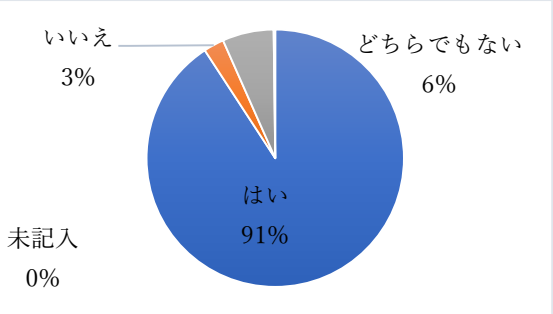


2-2. 自分で探した場合は、どのような基準で実習先を探したのか教えてください。(抜粋)

距離(近いかどうか)の基準	**131 件**
・地元の園で実習をしたかったから。 ・自宅から通勤しやすい場所 ・自宅から通える範囲で私立の園の様子を知りたいと思ったから。	
卒業園だから	**32 件**
・自分が卒園した園で実習をしました。 ・母園の環境が好きだったから。	
クチコミやホームページの情報から	**10 件**
・先輩方からも保育園の評判をきいたりしました。 ・大学で卒業生が就職した園や実習園が書かれた資料が配られ、その中から探しました。	
保育理念・保育方針に賛同したから	**7 件**
・保育の方針等を基準に考えました。	
その他	**13 件**
・働きやすそうな職場。見学に行った時にこの園で働きたいと思ったから。 ・知り合いの先生がいる園にお願いした。 ・公立園で働きたかったので、公立で実習をしたいと考えた。	

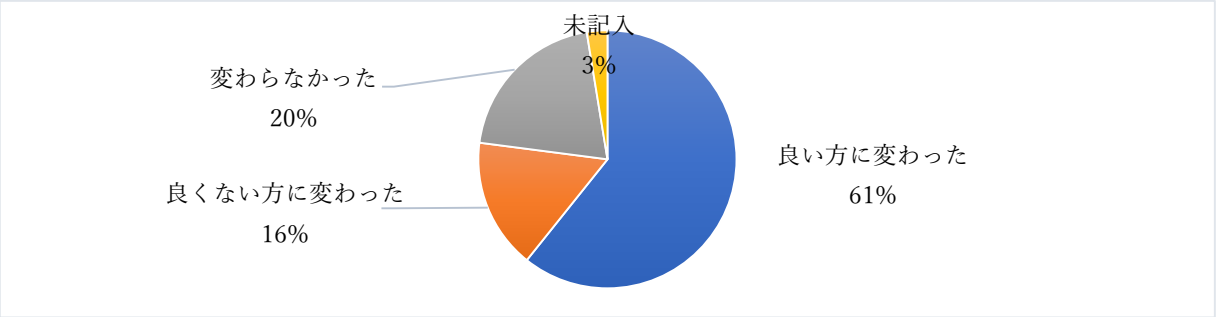
3. 将来は保育士や保育教諭として働きたいと思って実習を受けましたか？

回答欄	件数	%
はい	423	90.77%
どちらでもない	30	6.44%
いいえ	12	2.58%
未記入	1	0.21%
合計	466	100.00%



4. 実習前と実習後で気持ちは変化しましたか？
その理由も具体的に教えてください。

回答欄	件数	%
良い方に変わった	283	60.73%
変わらなかった	95	20.39%
良くない方に変わった	76	16.31%
未記入	12	2.58%
合計	466	100.00%



★良い方に変わった理由（抜粋）

職員の指導・態度に影響を受けたから（良いこと）	37 件
・先生方の保育への思いを教えて頂いたり、子どもと関わる姿を見て、私もそんな保育者になりたいと思ったから。 ・実習担当の保育教諭に丁寧に指導してもらい、できないことばかり気にする私の得意を見つけて自信をつけてくれた。 ・保育士の仕事の楽しい部分と辛い部分の両方知ることができ、辛いけれどやりがいのある仕事だと思ったから ・実習前はやっていけるかなという不安がすごく大きかったのですが、いざ実習をするとあたたかい先生たちで安心しました。	
職員の指導・態度に影響を受けたから（悪いこと）	**2 件**
・実習先の先生の子どもに対する関わり（大きな声を出す、子どもの想いを聞かない…）を見て、逆にこうならないと思い自分の目指す保育士像が明確になって、気持ちが奮い立った。	
自己成長ができたから	**73 件**
・自分の課題点が見つかったり、得意なことを見つけたりすることができたから。 ・子ども達の姿や、保育者の様子を見てイメージが膨らみ、夢が更に広がったから。 ・積極的になった	
子どもたちに触れて…	**89 件**
・子どもの歌や、子どもの成長を間近で感じ感動した。保育の職に就きたい気持ちが強くなった。	

その他	68 件
・実際の現場で大変なことも、楽しいことも両方知れたから ・実習をきっかけに保育士になりたい気持ちが強くなった ・実習園がとても良く、ここで保育士として働きたいと思うようになった。	

★良くない方に変わった理由（抜粋）

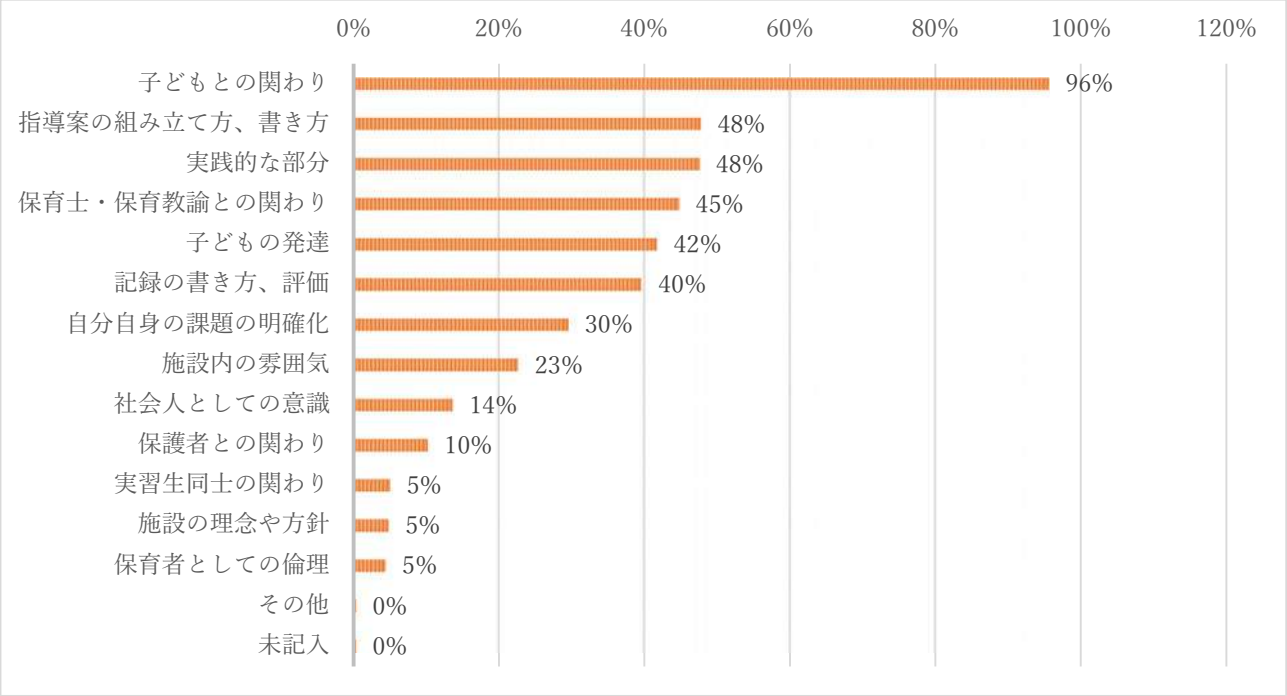
職員の指導･態度に影響を受けたから	17 件
・実際に働いている保育士の方々の姿を見て、自分は本当に向いているのかと考えてしまったから。 ・職員関係が悪く、先生の顔を伺いながら保育をしていたから。 ・先生が厳しかった。記録がしんどかった。	
保育実践や保育業務によるもの	**46 件**
・覚えること、考えること、やることが多過ぎて、子どものことよりも忙しいという気持ちばかりが残った。 ・自分が思っていた以上にしんどく、責任感も重いと思ったから ・保育を進める上で難しいこと、気にかけることが思っていた以上に多く、やっていけるか不安になった。 ・保育士、保育教諭として、責任を持って仕事が努めることができるのか不安に思ったから。 ・“子どもが好き”という気持ちだけではできない仕事だと感じた為。	
記録･計画などの書き物が大変だったこと	**8 件**
・毎日の記録や計画が大変で、生活リズムが乱れ体調を崩しやすくなったから。 ・保育日誌、指導案を自宅に帰ってから記入するので、睡眠がなかなかとれなかった。 ・ベテランの先生方が多く、気をつかってしまい、話しづらかった。	
その他	**5 件**
・ほとんどが自由遊びで保育士と子どもの関わりを見る事がごくわずかだった。 ・園の保育方針が合わなかった	

★変わらなかった理由（抜粋）

保育士になりたい気持ちに変わりはなかったから	20 件
・実習で実際に自分が保育をする立場を経験させてもらい、大変さや不安を感じたが、保育士として働きたいという気持ちに変わりはなかった。	
実習や現場が大変なことがわかっていたから	**14 件**
・予め、ただ子どもを見ているだけの職業ではないこと、指導案・記録・保育の準備・事務作業が大変であることを知った上で臨み、実習先の先生に、「実習はしんどいけど、働き始めると周りの先生とも仕事を分け合って、相談しながら働いているから、気持ちは楽にいても良いと思う。」と言われた為。 ・自分の想像通りで気持ちに変化はなかった。	
大変さもあれば、やりがいもあったから	**12 件**
・記録や指導案が大変であったが、同時に楽しさややりがいも感じたので、特に変わらなかった。 ・思っていた通り記録は大変だったし、でも子どもたちは可愛いので良いも大変も半分で変わらなかった。	
その他	**12 件**
・まだ迷っている ・忙しくて考える時間がなかった。	

5. 実習を振り返って、勉強になったこと、楽しかったこと、よかったことなど、上位４つを教えてください。

回答欄	件数	%
子どもとの関わり	446	95.71%
指導案の組み立て方、書き方	223	47.85%
実践的な部分	222	47.64%
保育士・保育教諭との関わり	209	44.85%
子どもの発達	195	41.85%
記録の書き方、評価	185	39.70%
自分自身の課題の明確化	138	29.61%
施設内の雰囲気	106	22.75%
社会人としての意識	64	13.73%
保護者との関わり	48	10.30%
実習生同士の関わり	24	5.15%
施設の理念や方針	23	4.94%
保育者としての倫理	21	4.51%
その他	2	0.43%
未記入	2	0.43%



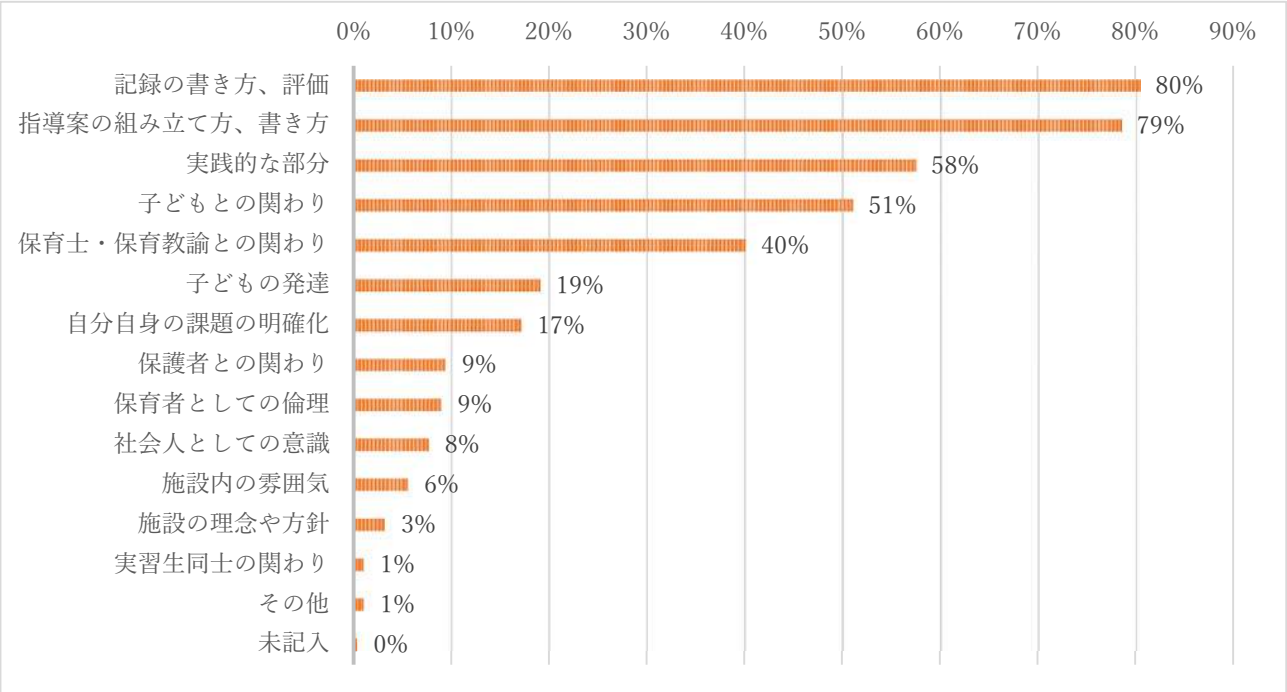
5-2. 上記設問に対して、具体的な内容や感想、そう感じたエピソードがあれば教えてください。（抜粋）

子どもとの関わりに関すること	107 件
・子どもたちの日々の成長する姿に感動した。保育者の仕事する姿を見て保育士のやりがいを感じる事ができた。 ・授業では子どもとの関わり方を学んだが実際関わってみると全く違った。 ・子どもが活動したくなるような言葉かけを工夫することができたから	
保育士・保育教諭との関わりに関すること	**19 件**
・先生同士、歳が離れていてもお互いを高め合って楽しく保育をされていた。 ・毎日、実習先の先生から助言をいただき、自分が感じ取ったこととは違った視点から様々なことを教えていただき、とても勉強になった。また、実践的な部分で、子ども達と関わったり、先生方の姿を見たりできたのは良かったと思う。	
記録・指導案などの書き物に関すること	**52 件**
・指導案や日誌など丁寧に見ていただき、何度も直していったことで、ふさわしい言葉や、文章など身につけることができた。 ・指導案の書き方において、言葉の表現の仕方や援助・配慮の意味をきちんと理解する等こと細かに教えていただきました。 ・参加型の実習で一日保育をするときに指導案を細かく指導して頂いたおかげでスムーズに進めることができた。指導案があることで自分自身が安心して保育を体験できたので重要だと肌で感じた。	
保育実践や業務に関すること	**76 件**
・子どもたちと毎日十分に関わることができ、個性を認めたり、一人一人に合った対応をすることを学ぶことができました。そして、設定保育をさせてもらい、自分の考えた保育を子どもたちと一緒にし、喜んでもらえた時に本当にやりがいを感じました。 ・部分実習や研究保育を実際にして、指導案で書いた子どもの動きと実際の子どもの動きが違い焦ったが、予測してどんな時でも対応できなければならないと学んだ。予測したことを実際に経験することでは全く違うと思った。 ・10 日間の実習の中で 0～5 歳児全てのクラスに入らせてもらったので“この年代の子はこんなことができるんだ”ということを感じられた。	
施設内の雰囲気に関すること	**8 件**
・施設内の雰囲気や人間関係は子ども達にも影響することを学ぶことが出来た。 ・人間関係が良かった	
自分自身の課題や自己成長に関すること	**40 件**
・自分自身の苦手なこと、できていないことがわかった。 ・部分実習を通して全体を見る視野の広さが必要だと感じた。 ・冬の実習だったので体調管理が難しかったが、働き始めると常に体調管理が大事になるので、社会人は大変だなと思った。 ・大学 2 年生の頃に入った実習先の子ども達と関わった後、大学 3 年生の頃の 2 回目の実習の際に成長している部分が大きく見られた。	

その他	8 件
・施設によっての違いを感じられた ・同じ実習生がいることで相談できてよかった。	

6. 実習を振り返って、大変だったこと、苦労したこと、つらかったことなど、上位 4 つを教えてください。

回答欄	件数	%
記録の書き方、評価	375	80.47%
指導案の組み立て方、書き方	366	78.54%
実践的な部分	268	57.51%
子どもとの関わり	238	51.07%
保育士・保育教諭との関わり	187	40.13%
子どもの発達	89	19.10%
自分自身の課題の明確化	80	17.17%
保護者との関わり	44	9.44%
保育者としての倫理	42	9.01%
社会人としての意識	36	7.73%
施設内の雰囲気	26	5.58%
施設の理念や方針	15	3.22%
実習生同士の関わり	5	1.07%
その他	5	1.07%
未記入	2	0.43%



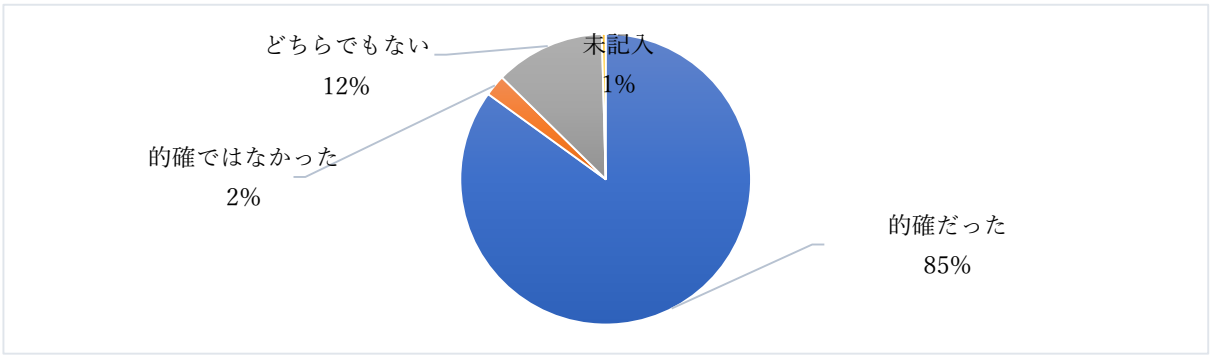
6-2. 上記設問に対して、具体的な内容や感想、そう感じたエピソードがあれば教えてください。（抜粋）

子どもとの関わりに関すること	32 件
・子どもとの関わりの難しさや実践的な部分として活動の内容、進め方、時間配分、声かけ及び援助、配慮についてイメージしていた通りには行かないことが多く、臨機応変に動くことができなかったこと。 ・子ども達と関わることが楽しかった反面、子ども達が困っている時など声掛けをどのようにしたら良いのか難しかった。	
保育士・保育教諭との関わりに関すること	**27 件**
・質問があってもなかなか途中で聞けなかったり、忙しそうにされていて声を掛けづらかったりした ・良い先生もたくさんいましたが、子どもに対してとても厳しい先生や他の保育士を悪いと言っている方もいて、驚きました。 ・園長から雑務を指示され、「おそい」「さっさと進める」等の言葉を言われた。罵声のような言葉。実習生に対する扱い方が、とても雑であった。 ・指導して下さる先生が厳しくて、怖くて関わるのが辛かった。	
記録・指導案などの書き物に関すること	**155 件**
・日誌の書き方や、指導案の書き方に苦労しました。子ども達の前で何か実践を行う時、何を目的としねらいを定めるのか考えて行うことが大変でした。 ・記録の量がとても多く、毎日 3 時まで書類を書いており、体力的に大変でした。 ・夜遅くまでかかって書いてきた記録をズバズバと否定され、全て書き直してと求められた時。 ・記録を見て頂く先生によって指導の仕方が違い大変だった。	
保育実践や業務に関すること	**95 件**
・場面によって、どう子どもに接したらよいか、対応したらいいのか、困ったことがあり、トラブルが起きた際の声かけは難しいと思った。 ・自分の想像していた保育と、実際に子どもがいての保育が違いすぎてとまどったこと。 ・事前に部分保育や、設定保育の準備をきちんとしておくべきだった。	
施設内の雰囲気に関すること	**5 件**
・園長とその他での意見の食い違いがあったようだが、そのいざこざに巻きこまれ、実習時間が終わっても帰れないことがあった。 ・休憩をいただいた時、1 人で職員室の端で飲み物飲んで過ごすのが少し怖かった。本気で子どもが好きで、覚悟はしていたけど、保育の道をあきらめようと感じた。責任実習の物品を基本用意するのは分かるが、実習費も払って、保育でも買ってというのが…。机を拭くシートも貸してくれず、時間がかかる新聞作成があった。	

自分自身の課題や自己成長に関すること	15 件
・自分が人見知りの性格なので、初めて関わるたくさんの保育士の方とコミュニケーションをとるのが大変だった。 ・今これをすべきなのか、してはいけないのか、社会人としてのマナーを学ばずに実習へ行ってしまい、自分の情けなさに気づいたからです。	
その他	**5 件**
・一人実習生だったので、色々と不安だった。 ・同じ実習生がいることで相談できてよかった。 ・保護者の方に発達の相談をされた時にどのように話しをしたらよいのか困った。	

7. 実習中の指導者からの指導内容は的確だったと感じましたか？
その理由も具体的に教えてください。

回答欄	件数	%
的確だった	396	84.98%
どちらでもない	57	12.23%
的確ではなかった	11	2.36%
未記入	2	0.43%
合計	466	100.00%



★的確だったと思う理由（抜粋）

丁寧で細やかだったり、アドバイスがあったりした	194 件
・日誌の書き方や子どもに対する接し方を丁寧に教えてくれました。 ・丁寧に見てくださり、分からないことはないか気にかけてくださる保育者の方がいた。 ・日誌や指導案では、赤ペンで「こういう風に書いてみたら？」や「こうすればもっといいよ」など具体的に教えてくださった。質問に対し、的確に答えてくださり、保育をする中で意図をもってしておられるんだなと改めて感じた。 ・日々の反省や、記録もしっかりと見てくれ、アドバイスも丁寧にして頂いた。 ・自分が気付いていないところまで、見てくださっていたり、上手くいかず、悩んでいたときも、アドバイスをくださったりと、とても勉強になった。	
理由を言ってくれた	**86 件**
・なぜそのような行動になるのかをしっかり教えてくれた。 ・日々、何気なく子どもと関わっていることでも実はこういう意味があるんだよ、と教えていただいた。指導者の子どもと接する姿をみて、改めて保育士になりたいと感じました。 ・何の為に○○をするのか、そのねらいや内容が明確で思いが伝わってきた。	
相談しやすかった	**40 件**
・私にあわせた指導やわからない事があれば聞くとすぐに対応してくれた。 ・実習中に話し合いの場を設けて下さり疑問に思った事や直した方が良い所を教えてくれたから。 ・相談しやすい雰囲気で、保育中にわからないことでも的確に指導して頂いた。	
その他	**33 件**
・実際に保育士になってから、教えてもらった事が役に立っているから。 ・自分の視野のせまさに気づくことができました。	

★的確ではなかったと思う理由（抜粋）

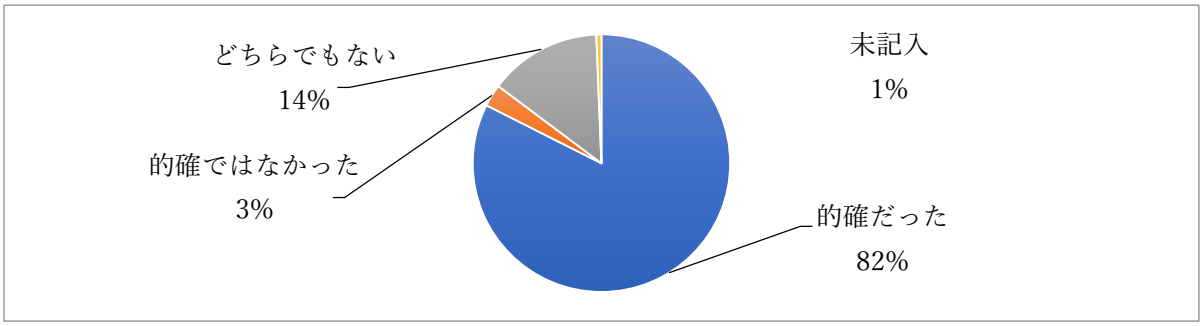
厳しいことばかりの指導だった	2 件
・悪いところばかりを指摘され、こうすれば良くなる等は、指導してもらえず残念だった。	
指導や回答が無かった	**3 件**
・反省など振り返りがなく、次にどうしたらいいか分からなかった。	
その他	**5 件**
・保育中に会話する事や質問等をしても、「他の先生にきいてみて」と嫌そうな顔をされて、悲しかった。 ・「～して下さい」と指示はあるが、何を使う、どのようにする、などの詳細がなく苦労しました。また１人の先生から指示を受け、とりかかろうとする時に、他に先生から指示が入り困惑しました。	

★どちらでもないという理由（抜粋）

施設や指導者によって指導が異なるから	2 件
・保育者の感情で叱られたりすることもあった。 ・園によったが、何もわからない私にたくさん教えてくださって質問しやすい雰囲気をつくってくださる人もいれば、できるのが当たり前だという感じであまり教えてくれない人もいた。	
指導の内容によっては疑問に思う時もあったから	**3 件**
・分かりやすく伝えてくれる時もあるが、あまり具体的ではなく抽象的だった時もあったため。 ・何にでも決めつけがあり、それに基づいての指導をされていたように感じたため。 ・言っていることはたくさんあるが、先生自身が全くできていないから	
指導や回答が無かった	**5 件**
・どうすれば良かったなどのアドバイスはなかった。	
その他	**5 件**
・つらくて泣いていると、「私の時も泣かされていたから」と言われた ・何が良い教え方が分からないので、どちらでもない。	

8. 実習中の指導者からの指導案・記録の添削は的確だったと感じましたか？
その理由も具体的に教えてください。

回答欄	件数	%
的確だった	384	82.40%
どちらでもない	66	14.16%
的確ではなかった	13	2.79%
未記入	3	0.64%
合計	466	100.00%



★的確だったと思う理由（抜粋）

丁寧で細やかだったり、アドバイスがあったりした	257 件
・私の意見も認めながら、丁寧に教えて下さったから。 ・一枚一枚、丁寧に見て下さり、細かい言葉の表現の仕方も知ることができたから。 ・改善した方が良い文章は例文を用意してくれたり、保育教諭の援助を追加して書き出してくれるなど、忙しい中十分に指導いただいた。	
理由を言ってくれた	**21 件**
・何故そう考えるのかというところまで掘り下げて考えることができた。意識することができた ・添削している理由も教えて下さり、自分自身が納得できた。	
相談しやすかった	**5 件**
・毎日の反省実習を通して、一緒に考えてくださったり、文章表現などを教えてくださったから。	
その他	**36 件**
・毎日子どもたちと関わっている保育士の方に実際の子どもたちの動きなどを添削してもらうことで指導案が書きやすかった。 ・添削をすることによって自分自身の課題を知ることができた ・公的な文章、保育での書き方を学ぶことができた。 ・早く返せるようにと、実習生が日々を振り返り記録を見ていけるようにすばやく添削して頂いた。	

★的確ではなかったと思う理由（抜粋）

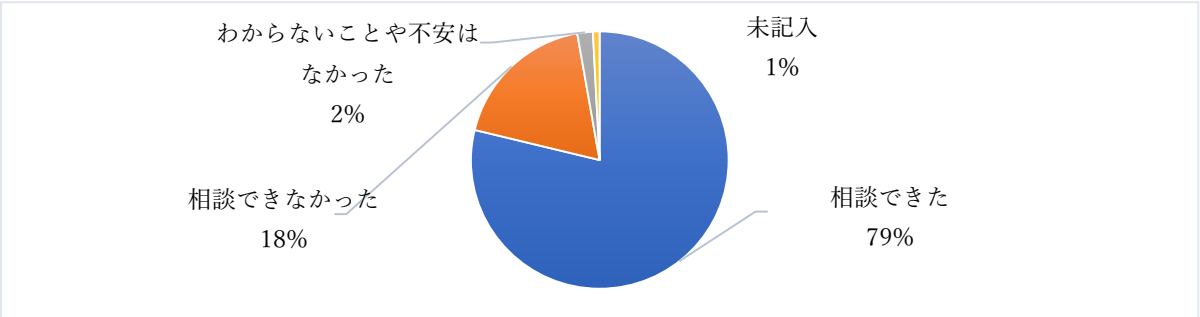
厳しいことばかりの指導だった	1 件
・とにかく厳しく字のクセまで言われた。悪いところばかりを指摘され、こうすれば良くなる等は、指導してもらえず残念だった。	
指導や回答がなかった	**5 件**
・特に添削もなく見て返却されただけだから。 ・指導日（実践の日）前に出した日案が、指導日になっても添削されなかった…。	
施設や指導者によって指導が異なるから	**3 件**
・保育者によって書き方が様々で正しいと言われて書いたものを、別の保育者には、反対されたり、書き直されて、どうしたらよいのか、混乱し、困った。	
その他	**4 件**
・添削がたくさんあったので、毎日寝不足が生じ実習に全力でのぞむことができなかった。 ・提出指導案がなかなか返ってこなかった。 ・指導者の方も記録の書き方があいまいだった。	

★どちらでもないという理由（抜粋）

施設や指導者によって指導が異なるから	1 件
・1 つ 1 つ丁寧に教えて下さる方がいた一方で、何も添削されずどこがダメだったのか理由を言ってくれない方もいたから。 ・保育者側が考えたねらい・内容も添削されておりどうしたら良いか分からなかった。	
指導の内容によっては疑問に思う時もあったから	**5 件**
・指導案はほぼ書き直しであった。（全て）半日実習の指導案は返却されるのが遅かったため、実習前日に内容を変更し、全て書き直しということもあった。 ・書き直しがある事はいいと思うが、漢字ミスでも 1 つあれば、1 からやり直しで多い日は 9 枚くらい書いていた。	
指導や回答が無かった	**3 件**
・保育者によって書き方が様々で正しいと言われて書いたものを、別の保育者には、反対されたり、書き直されて、どうしたらよいのか、混乱し、困った。	
その他	**4 件**
・“書いて提出すること”を重視されていたので添削はあまりなかった。 ・あまり直されることがなかったので、正しいかどうか分からなかった。	

9. 実習中でわからないと思ったことを聞いたり、不安なことを相談したりすることはできましたか？その理由も具体的に教えてください。

回答欄	件数	%
相談できた	367	78.76%
相談できなかった	86	18.45%
わからないことや不安はなかった	9	1.93%
未記入	4	0.86%
合計	466	100.00%



★相談できたと思う理由（抜粋）

声をかけられた、または声をかけやすい雰囲気だった	190 件
・一日ずつ、わからないこと、疑問に思ったことを尋ねてくださり、気さくに話してくださったことで、私も思うことを話せました。 ・困ったことがあればすぐ聞いてくれていいよと何回も言われていたのでよかった。 ・「わからないことがわからなくて当たり前だから、少しでも疑問に思ったら、何でも聞いて」と言っていただき、いろんなことを質問させていただけた。	
相談する時間や場所を設定してくれた	**89 件**
・毎日決まった時間に 1 日の反省時間があり担当の先生と話ができた。 ・1 日終えるごとに、「今日の中で聞きたいことや相談したいことある？」と聞いてくださり、ありがたかった。	
その他	**25 件**
・大まかなことは相談できたが、実習生と現場の温度差を気にしてしまい、どこまで聞いていいのか分からないこともあった。 ・話しやすい先生もいたがそうでない先生もいた ・相談して少し喧嘩になりました	

★相談できなかったと思う理由（抜粋）

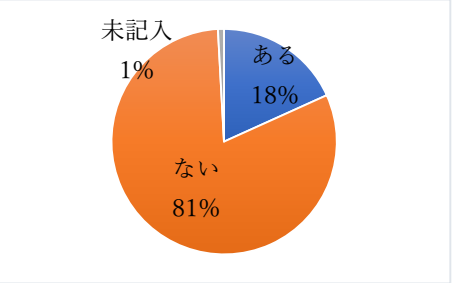
相談しやすい雰囲気ではなかった	46 件
・相談をできる雰囲気ではなく、常に怖く、笑顔がない保育者だったので聞けなかった。 ・保育者がピリピリしている気がした。自分の気持ちは分かってもらえないと感じた。 ・忙しく働いている方に聞くと悪い気がしたり、聞けそうなタイミングを逃してしまったりが多かった。	
相談する時間や場所の設定がなかった	**12 件**
・反省会などがなく、聞く時間がなかった。 ・いつ聞くのか、今質問していい時なのか分からなくなると相談できませんでした。	
自分自身が相談できない性格だった	**15 件**
・初めての人と関わる事に苦手意識があるから。 ・何が分からないかも分からないことが多かった ・話すタイミングがつかめなかったことと、こんなことも分からないのか、とあきれられてしまうのが怖かったから。	
その他	**5 件**
・どう相談すれば良いのかわからなかった。 ・聞ける先生と聞きにくい先生がいたため。	

★わからないことや不安はなかったと思う理由（抜粋）

声をかけられた、または声をかけやすい雰囲気だった	1 件
・先生方が気にかけて下さり、聞いて下さることが多かった。	

10. 実習を振り返って、施設や指導担当者に望むことはありますか？

回答欄	件数	%
ない	377	80.90%
ある	85	18.24%
未記入	4	0.86%
合計	466	100.00%



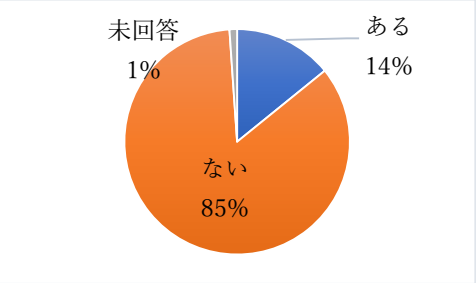
10-2. あると回答した方は、どのようなことなのか具体的に教えてください。（抜粋）

指導者の対応や態度に関して	65 件
・話し掛けやすい雰囲気作りをしてほしい ・「何でも相談して」と言ってくれるのならば、そのような時間や雰囲気を作ってほしい。 ・実習生が動けていなかったり、ミスをしてしまってもわかりやすく保育士同士で悪口を言わないでほしい。直接話をしてくれた方が直せると思う。何年働いてもまちがうことはあるのに数日間でまちがったことをそう言われると保育士になりたくなくなる。 ・指導案や記録をなるべく早く返してほしい。 ・部分実習や責任実習とは別に、「絵本を読んでみる？」と突然声を掛けて頂いたこと。貴重な体験をできた喜びはあるが、事前にもっと絵本を読み込んでいたかった、また、自分で絵本を探す時間が足りなかったから。 ・施設内の職員で指導の仕方を統一してもらいたい。 ・一言でも褒めてくださったり、指導してくださる時に笑顔で言ってくださるだけで、その日頑張ろうと思えます。 ・私自身ではないが、励ましの言葉がなく行動全てを責められている思いだった。記録に時間を取られすぎて心に余裕が持てなかった。職員の愚痴を聞かされ辛かったなどの声を聞いたので、実習生が失望しないような対策を考えていただきたい。	
保育士（専門職）の子どもへの態度について	**2 件**
・2 歳児に対し、食事が進まなければ叩く、ブランコに乗りたくないという気持ちを無視して無理矢理乗せる等、子どもを大切にする子どもの想いに寄り添うという保育士の姿がなく、その姿を見て何を学ぶのか分からなかった。実習先として正しい保育の在り方を、示してもらいたい。	

実習時間の配慮について	4 件
・定時の時間で必ず退勤出来るような体制づくりや雰囲気づくり。 ・休憩時間中は休憩させてほしい。30 分休憩と言いながら、5 分くらいで終わったり、仕事をまかせてきたりしたから。	
振り返り･相談の機会について	**7 件**
・少しの時間でも保育者と話せる時間が欲しい。 ・時間をとって下さり、反省する点や良かった点を丁寧に教えて下さったおかげで実習に前向きに参加できたので。	
その他	**7 件**
・実習中ずっと同じ年齢だったので、違う年齢の子どもとも関わりたかった。 ・園の情報や保育のやり方、ルールなどを事前に説明してほしい。 ・指導案と記録の量を考えると、毎日寝られずに子どもと関わって身体を壊すのはおかしいと思います。記録は考えた方がいいと思います	

11. 実習中に施設や指導者から理不尽だと感じる指示や対応を受けたことがありますか？

回答欄	件数	%
ない	395	84.76%
ある	66	14.16%
未記入	5	1.07%
合計	466	100.00%



11-2. あると回答した方は、どのようなことだったのか具体的に教えてください。

指導者の態度、指導方法に関して	41 件
・保育中は、特に指導、指示がないのにも関わらず、実習終了前に、たくさんの事をズバズバと言ってくる。 ・教えてもらっていないのに理不尽に怒られ、ピアノの楽譜は見てはいけない等 ・施設によっては実習中ずっと冷たくされ、なついてくれた子どもに対しても強くあたる人もいたため子どもに接することがかわいそうでできなかったこともあった。 ・矛盾したこと、小声で何を言っているか分からない人がいた。 ・前と後とで言っていることが違う。どうせできないと思われていると感じる。 ・子どもが「くつしたをはかせて」と言ってきたが、できるだけ自分ではけるようにという先生のやり方だったため「自分でやってみて」と言葉を掛けると、担当の先生に「子どもと関わらないで」と言われたこと。 ・つらい時に泣いていると「私の時も泣かされたから」と、当たり前のような対応をさ	

れた
・先にいた先生にあいさつし、保育に入っている時に、いなかった先生が来て「あいさつは？」と言われたこと。
・指導を受けたときに前回に話されていることと、今回話されたことの食い違いがあったにもかかわらず、そのようなことは言っていないと、否定されたとき。
・保育者によってやり方などが違うため、こうして、と言われてしていても、違う保育者からこうして、と指摘を受けたこと。
・オリエンテーションでは伝えられていなかったことや確認していたことが実習が始まると逆転していて注意されたことなど。
・子どもの前や他の先生との前での態度があきらかに違っていたときがあった。
・あいさつをしてもむしする。
・就職を希望していない実習生には何も教える気はないと園長先生に言われた事です。
・教えてもらっていない事を、できていないと注意されたことがあった。
・朝の挨拶をしても返答がない事があった。
・自分で考えた記録について、この内容が思いつくはずがないとはじめに言われ決めつけられた。
・笑いながら注意されることがあったので不快と感じました。また、直接ではなく陰で悪口をきこえるように言われたことがある。
・複数担任で、一人の指導者に指示されたことを行っていると、別の指導者が、今することではないと言われたこと。
・全日実習なのに、急に入ってきて歌を歌ったり、活動中に違うおもちゃを出してきて子どもが熱中してしまい、私の指示が通らずうまくいかなかったことがあった。
・園長の対応が怖いと感じたことがあった。
・かみの毛が長かったため下の方で団子にしていた時に副園長先生から理由はつげられず１つぐくりにしろと言われた。
・添削後の書類に、「この表現は保育者としてふさわしくない。」と書かれ、実際に言われるより、人格否定された気持ちになった。今でもその書類を見返すことができない。
・「実習だから積極的に動いていいよ」と担任の先生に言われたので自分なりにしたのだが、副担の先生に「何で勝手にするの？聞いてよ」と言われてしまった。全部聞いていてもめいわくだろうし…と分からなくなった。
・指導を受けたことがないことに対して「何でできないの？」「やる気ある？」と言われた。
・積極的な行動があまり見られなかったという点のみで、非常に低い成績をつけられたこと。
・実習の初日に毎日部分実習があると言われ、毎日指導案がいると、実習が始まってから言われたことです。また、その実習に対して何もご指導いただけなかったので少し理不尽だと感じることがありました。
・施設の実習を行った際に実習生が質問しても無視をされたり、挨拶をしてもにらまれたり、てきとうな態度をされたこと。
・人によって様々なやり方が異なるので、それについて注意を受けた。

・実習先の園長先生から「私が学生の時の実習ではもっと自主的に～していた」などやる気がないように言われたこと。
・給食中、手を出さないでと言われたので近くで見守っていると、「何をしてるの？」と言われる（現在の勤務先ではない園）
・クラスの部屋のそうじをしていると、先生が入って来て、「○○先生、人は2日3日たつと手をぬくんだよ」と手で床をさわり、そうじをやり直した事があります。
・実習前のオリエンテーションで、実習とは関係のない内容の園のそうじや資料作りを頼まれ、8：30～16：30まで行った。オリエンテーション自体は、30分もなかった。実習前のオリエンテーションではないと感じた。
・「何で出来ないの？」と1年の初めての実習で言われて“保育士なんか向いてない”って思った。
・自分のことを「○○先生」と呼んでね、と子どもたちに言っていたら、「ちょっと」と呼び出され「あなた先生じゃないでしょ。まだ実習生や。」と叱られた。私はその時、その職につきたくて学びに来ていたから、みんな子どもから見たら先生になると思いそう言っていたのに、「どっちでもいいやん」と初めは思った。友だちの園では「○○先生」と呼んでもらっていたという友だちもいたため、当時はなんで？と思った。
・他の保育士に頼まれたことをして、叱られた。
・子どもとの関わり方で分からないことがあり質問したらなぜ、そんなことも分からないのかと言われた。
・もう1人の実習生には良くしているのに対応、接し方が違ったり、最後の評価まで低い点数を自分だけつけられたこと
・実習Ⅰで担当保育士に“ここで記録とかお茶飲んでね”と言われたので書いたりしていたら男性保育士にするどい口調で“どっちかにしたら？”と言われたこと。保育者の手伝いに運動会用品を出していたら、その男性保育士に“じゃま”と言われたり、まったく関係ない先生に言われて傷つきました。
・意図していた事をすべて否定された。
・子どものミスを怒られた。

事前連絡がなかったことに関して	**6件**

・今まで知らされず、いきなり給食を担当してほしいと言われ、上手くすることができなかった時「今まで見てきたのにできなかった？」と言われたり他の実習生と比べられたり対応を変えられることがあった。子どもへ声かけをしていると保育士同士で目くばせをして鼻で笑われることがあった。
・責任実習で他の実習生は保育教材を用意してもらっていたが、私だけ全て自分でクレパスなど用意しなければならなかったのは理不尽だと感じた。統一してほしかった。また、絵の具やのり、クレパスを用意していたが、当日園のものを使ってと言われ、買いそろえたのに使うことはなかった。
・言われていなかったのに、急に「明日研究保育をするから指導案や準備をしてきて」と言われた。
・部分実習の日程を最初に言っていた日と違う日に変更になったことをぎりぎりまで伝えてもらえなかったり、園長先生が考えた内容に指導案を書き直すことになった。

・1 日保育の前の 3 日間ほど担当の先生が休みで相談ができなかった。
・支援の必要な子との関わりで、手伝おうとしたら急に声をあげて怒られた。あらかじめ接し方をきいていなかったので、それは理不尽だと感じた。

実習記録・指導案について	4 件

・記録を全部書き直し
・実習記録で間違っていると書き直しを要求されたので、どのように直したらいいのか聞いたけれど、「今は思いつかないけど、違う」と言われた。また指導案を初日に提出したけれど、1 週間後に返却されて「違うものに変えてほしい」と却下された。
・何度も指導案を書き直させられた
・指導案の添削を 1 回して頂いて、それを提出するとまた添削と繰り返しがあったので、やめてほしいと思った。新しい日案に毎回書くのも時間がかかり、寝る時間もなかった。

実習業務の内容や時間について	7 件

・施設、幼稚園実習で結構な時間掃除をしたこと。
・17：00 までの実習だったのに、そこから仕事を言われいつも園を出るのが 20：00 頃だった。
・ないが、他の実習園より実習が多く、大変ではあった。
・園で働いてほしかったのか実習中に小論文やピアノなど就職の試験をさせられた。
・子どもにケガをさせたと言われた事があり、なぜ実習生に全てまかせてしまうのだろうと思った。その場で一緒に見ていたのでは？と感じた。一緒にいた私も悪いがなぜだろうと思うこともあった。
・実習の時間が過ぎているのに中々帰れなかった。＋2 時間ぐらい。新聞作りを完成させないと帰れない雰囲気だった。
・「そこにいて」というイベントごとの時の放置プレイ。

その他	5 件

・虐待を受けて施設に入っているのに職員が虐待するのはどうなのかと感じた。
・子どもを抱っこしてはいけないと言われた。乳児院だったので子どもが次々に抱っこして欲しがる為にしないようにとのことだった。
・覚えていません。
・忘れました。
・いろいろありすぎます

12. 保育士や保育教諭として就職しなかったもしくは、就職しないと思っている友達や同級生で、その理由をご存知でしたら教えてください。(抜粋)

給与など処遇に関するもの	100 件
・給料が低い割に業務が大変。 ・自立のため一人暮らしをしたいが給料が低くきびしい ・給料に相応しくない重労働と命のかかわり。要望だけが増幅し、とどまることがない。残業の無手当。持ちかえりの仕事。	
人間関係に関するもの	**41 件**
・人間関係が悪かった。 ・子どもとのかかわりではなく、保護者や、保育教諭間での関係作りに不安を感じた ・女性が多い仕事場で悪口をたくさん聞いてしまった	
保育実践や業務に関するもの	**82 件**
・書類が多く残業もある ・保護者対応が自分には無理だと言っていた。 ・体力的にも精神的にもしんどい ・ピアノができないからやめた	
多職種への就業希望によるもの	**49 件**
・資格をとるために、養成校に通っていた ・他に目指すものができたから。 ・進学したい	
実習を経験したことによるもの	**118 件**
・実習で厳しい先生に当たり、実習中がつらかった。人間関係の面で女性の社会なので嫌な思いをした。給料が安く、仕事内容と合っていない。 ・実習がきつくて保育士になることを諦めていた。毎日の実習記録がしんどくて実習をやめる人がいた。理不尽な指導を受けてやめる人がいた。学校の先生の現場の話をきいて、心が折れる人がいた。 ・実習で自分は向いていないと思った ・実習に行って、「楽しい」よりも「しんどい・大変」が強く感じ、向いてないと感じたため。	
その他	**22 件**
・大学の単位を落としたから ・子どもが苦手だから。 ・免許、資格をとりあえず持っておきたかったため ・おしゃれがしたいけど、できないため ・給食の味がうすい	

5. 総合考察

５－１．委員による感想と考察

調査について、以下、総合的に考察を試みたい。その前に、本調査を実施するにあたり、尽力された先生方に心より敬意を表するとともに、先生方がお寄せくださった感想と考察を紹介したい。

為谷智恵美委員長より

「会員施設対象」

１－１１－２より

実習生を受け入れている施設が９６％あり、その理由として保育士確保の為という意見は予想通りでしたが、職員の資質向上という意見がその次に多かったのは、会員施設の向上心の高さが伺えます。

５より

実習の指定時間が８０時間ですが、その設定通りに実習を実施している施設が８４％、それ以外の意見が１６％ある実態に驚きました。「実習生・養成校」アンケートの中にも寝る時間がないという意見がありましたので、それぞれの施設のお考えもあるかと思いますが、指定時間を守る事がより良い実習を送ってもらえる事につながるのではと感じます。

９より

実習の指導者になられた場合、保育士の職務を伝えるためと捉えて指導されておられる中、業務が増えて負担を感じている現状や指導に迷いを持たれておられる事がわかりました。やはり、実習生を受け入れるにあたり「てびき」の重要性や、指導する方の業務負担軽減を考慮する必要性も感じます。

１７より

毎日の業務多忙な保育士の方々が、実習生のために時間を割き指導や協議の時間を取られている現状に大変感銘を受けました。その事への感謝の気持ちが「実習生のアンケート」の中にも複数回答がありました。指導保育士からの励ましで実習を乗り切った学生の方もいらっしゃることでしょう。ありがたいことだと思います。

３４より

実習生に対して、社会人として挨拶など一般常識を養成校で身につけて欲しいという意見が複数件ありました。養成校へのアンケート９で養成校が実習生に指導している内容の９２％が挨拶などのマナーでした。指導はされているが、実際は難しい学生が居られ、お困りの施設があるという実態がわかりました。もちろん、養成校にもお伝えしなくてはなりませんが、養成校との懇談会の中でもコミュニケーションが取りにくい学生が増えていることをお聞きしましたし、私達も実習生の中にそのような学生の傾向があることを認識し、挨拶やマナーなどはこちらから先に指導できるように、

あくまで実習生として育てていくという気持ちを持つと良いのかもしれません。
「養成校対象」
１４より
養成校からと実習生のアンケートの中からも、実習中に困ったことの中で実習生の前で職員の悪口や陰口を言う園があると複数回答がありました。
このアンケート結果を受けて、職員への指導や注意喚起が必要であることは当然ですが、保育士本人の自覚がないこともあろうかと思います。対策としては、休憩室を分けたり、休憩時間を分けるなどでこのような場面に実習生が遭遇することもないのではないかと思います。
実習中に就職の勧誘をされることに戸惑いを持たれることが複数回答ありました。施設側のアンケートの中で、実習生を受け入れる理由に就職につながるからと回答がありましたので、この結果は少なからず頷けます。保育士不足な中ですが、この結果を受け困ってしまう学生も居られることを認識してどのように対応していくべきかを考慮する必要があります。
１５より
実習生のアンケートからも、保育士としての資質が問われるケースが複数回答ありました。自園ではないと思わずに、再度聞き取りなどをする必要があると感じました。また、実態調査ができていないので本当のところはわかりませんが、困った保育士が存在することもわかりました。今一度振り返り見直すことが大切です。

「実習生対象」
１より
実習生が保育士になりたいと思う理由が、実習やボランティアでやりがいを感じたという回答が２２％あったことに驚きました。実習の中で挫折してしまうこともあるかと思っていましたが、大変な実習の中で将来の夢に希望を持たれている学生の存在は素晴らしいと思いました。
４より
実習前と後で気持ちの変化があったかとの問いに、良い方に変わったとの回答が６０％と半数以上だったこと。理由の中に、担当保育士の姿を見て自分もこのような保育士になりたいと考えられたことや、担当保育士の丁寧な指導があったことで自信につながったなどがあげられており、質の高い保育をされておられる保育士の存在に私達も支えられていることがわかり嬉しく思いました。また、良くない方に変わった意見として、職員の態度についての意見もありましたが、「業務自体が自分に向いていないことがわかった」という意見の方が多く、保育士を希望されないということは、施設側としてはマイナスですが、就職してからすぐに退職される新人保育士の存在を考えるとご自分の方向性が早い段階で理解されたので、ご本人にとっても良かったのではないかと思います。
７．８．９より

実習の中で学生が不満や困惑されたことが書かれています。学生ご本人はいやな思いをされて、その事をバネにし次の実習に生かすことができれば良いのですが、そのことがトラウマにならなければ・・・と願います。それらも、これから取り組む実習生を受け入れるための研修会やてびきの作成の中で改善ができるのではないかと考えます。

１２より

保育園などに就職しなかった理由の中に、給与が低いという処遇の面が１００件ありました。

給与面は、かなり上がってきている実態を学生は知らないのではと思います。以前保育士の給与が安すぎるとの報道がなされその印象をそのまま持っておられるので、なんらかの形でマイナスイメージを崩さなければならないと感じました。

荻原隆浩委員より

まず､アンケートの回収結果についてですが､本協会会員施設の回答が約 6 割(58.5%)に対して保育士養成校が 2 割強（23.3%)、実習生等が約 3 割（28.2%）

養成校と実習生の回答率の低さがとても気にかかります。

次に本協会会員施設の設問で､｢実習の指導者が実習に対して感じるイメージを教えてください。｣との問いに対して、自身の勉強になる 61.99%、保育士の職務を伝える大事な機会だと思う 77.05%と約 7 割の先生方が自分はもちろんのこと、実習生に、保育士として、将来頑張って欲しいとの願いが真摯に伝わってきます。これは一方で業務が増えて負担だと感じる、が 3 割（28.08%）を下回っており、実習生を受け入れることによる業務の負担よりも、その子が次の立派な保育士となって成長してもらいたいとの素直な現れと思います。

保育士養成校の「実習施設に直接言えないような困ったことケースがあれば教えてください。」との内容は衝撃的ではありますが、受け入れる多くの施設の中には、そのような旧態依然の施設も存在することを改めて実感させられました。

実習生の回答では「実習前と実習後で気持ちは変化しましたか？その理由も具体的に教えてください」では約 6 割の実習生が「良い方に変わった」と回答があり、ほっと安心しました。また「実習を振り返って、勉強になったこと、楽しかったこと、よかったことなど、上位 4 つを教えてください」については、子どもとの関わりが 95.71%と保育士・保育教諭との関わりが 44.85%と実習生が将来を見据えて保育士になる土台を作りため、一生懸命に保育を学ぶ姿、真面目さが浮かび上がります。これは「実習を振り返って、大変だったこと、苦労したこと、つらかったことなど」の回答にも「子どもとの関わり」と「保育士・保育教諭との関わり」が上位約半分であることが裏付けていると思います。

最後にまとめとしてですが、上記から判るように実習生の皆さんは、単に単位の修得が目的ではなく、当たり前ですがその大部分が、将来の保育士を目指して、希望に膨らみながら保育実習に臨んでいると思います。一方で、受け入れ側の施設も最初の投げかけの通り、たとえ業務が過多となろうとも、次の立派な保育士の先生を育成したいとの思いが、実のところ、希望ありです。
ではなぜ、養成校の「実習施設に直接言えないような困ったこと」や実習生の設問で「理不尽なこと」に対して、辛辣な多くの回答が寄せられたのでしょうか。
最初の回答率の差でも判るように、両者には大きな乖離が生じているのでしょうか。
明確な答えは見いだせませんがここで直近の出来事を記したいと思います。
現在、当園に実習生が１名来ています。この子はある養成校を通じて、「実は前の実習で及第点にならず、不可となってしまい、本人は保育をする自信を無くしています。なんとか貴園で再度、実習を受けさせて頂けませんか。この子は既に保育士として、ある施設より内定を受けていますが…」という内容で、当園の主任が即、受け入れをＯＫしました。既に受け入れて１週間が終わりましたが、とても真面目そうで、おとなしそうな子です。中間で、担当のリーダー保育士に「あの子はどう？」と聞いたところ、「最初はおどおどしていてなにもできませんでした。ただボ～と立っているだけでした。あとで本人から聞いたのですが、質問をすることも前のトラウマからできなかったそうです。今は落ち着いてきて、少しずつですが子どもとの関わりも良くなり笑顔もでています。」と言いました。この子は、前の受けた施設に対しては、多くを語りませんでしたが、とても厳しかったとのことです。訪ねて来られた養成校の担当の先生からは、面談で本人から「はじめて子どもと接する喜びを感じた」と言っていました。将来、是非とも保育士となって頂ければと思います。
「理不尽なこと」の中に「つらい時に泣いていると「私の時も泣かされたから」と、当たり前のような対応をされた」とありました。
答えにはなっていませんが、ここら辺が鍵となるのでしょうか？

大前恵子委員より
実習生の感想を読んでいて、1 番感じたのは、実習先の園や指導者によって、未来は大きく変わるのだということです。
園児にも同僚にも心温かい指導者の存在が不可欠です。実習生の資質向上の前に職員の資質向上が大事ですね。
夢をもっている学生もいざ就職、という時になってやはり保育士の待遇の低さは問題のようなので、待遇の改善は強く訴えていかなければなりませんね。アンケートの結果、受け入れ側で良かれと思ってしていることも
実習生には負担に感じたり、受け止め方もいろいろあるとわかったので、
参考になりました。アンケートをとったことには大きな意味が
あったと思います。

加藤美輪委員より
＜施設回答について＞
・就職につながればと思いながらの実習生の受け入れ、行事日程などを考えながらもできる限りの受け入れ保育実習ⅠとⅡの違いへの迷い・・・等など、どの結果も共感できるものばかりでした。
・実習生のマナーの指導はどこが行うべきものなのか、実習生の資質についてなどは難しい問題で、養成校との協議が必要なものだと思いました。
＜養成校回答について＞
・書類の統一化が可能ならばそれは施設側にとってはありがたいことですが、養成校としてはそれぞれの学校の特色もあるでしょうから、難しいことだと思っていました。アンケートによると統一も可能に感じるので、やはり養成校との協議の場が必要だと感じました。
・学生からの声を聴いてのご意見も多いと感じました。
＜実習生回答＞
・同じ出来事に対しても、学生の感じ方と施設側の感じ方にはかなり隔たりがあることも多いように思います。誤解で終わってしまうのは残念です。
学生の保育士への夢を誤解や理解不足で壊してしまわないようにするためにも、養成校と施設で話し合えたらと思いました。

荻野尚子委員より
実習園と養成校間において、より良い実習のためという熱意を持ち、平素から本音の意見を直接伝え合えればよいのにと感じました。今回、アンケートで率直な生々しい意見がたくさん出てよかったと思います。そしてこれがスタートではないかと思います。誰もが自分のこととして受け止めて改善に向かうことは、実習生や現場の保育者をはじめ、何より子ども達にとって大変すばらしいことだと思います。このアンケートが実習のてびきの作成に生かされ、養成校とともにその内容を考えていくことができればと思います。実習ノートの様式や用語、評価の観点などについても認識を共有することが望ましいのではないかと思いました。

５－２．考察とまとめ
５－２－１．実習園対象調査についての考察
５－２－１－１．実習生の受け入れについて
実習生の受け入れについては、年間受け入れが、1-2 名の園が 32.53%、3-4 人の園が 32-53%であり、同時期受け入れについては、1-2 人が 61.30%、3-4 人が 31.16%となっている。このことから、実習生が孤立しがちであることを認識しておく必要があると考える。特

に 1 名で受け入れていただく場合には、相互に確認したり、相談したりといったことが難しいようにも思われる。実習園側も、対象が複数である方が、認識のずれなどが生じにくいと思われる。

実習生の学びの観点からも、複数であることにより学びあいの機会が保障される。この点について、確認し、特に 1，2 名の実習生での実施が 60 ポイント以上と多い点について、再考したり、工夫したりすることが必要であると考える。

５－２－１－２．実習園の受け入れ状況と内容について

実習を断りたいと思った園は 16.78%、実際断ることがある園は 15.75%であり、その理由を実習生の態度としているものは前者 2 件と後者 11 件である。断る（断りたい）理由の多くが、園の事情（行事や受け入れ体制等、園側の事由）となっている。

実習を受け入れている園では、実に多くの園が実習前からオリエンテーション（98.57%）や、施設見学（66.07%）などを実施している。園の事情により実習生を受け入れがたい状況にある園については、実習前オリエンテーションや施設見学などの負担感も大きいことと思う。実習の受け入れについては、断わらざるを得ない園や、断りたいと考える園については、ご無理いただかず、一方で多大に尽力くださっている園を実習指定園として位置づけたり、開示したり、などして敬意をしめし、またその評価やインセンティブを検討してく必要性があると考える。

５－２－１－３．実習指導者とその業務について

実習生指導については、経験 4 年未満の保育者が担当している率は 1.72%であり、多くが、10 年以上（39.38%）である。多くが、担当リーダー（66.1%）と主任保育士・主幹保育教諭（43.84%）であるが、役職のない保育者も 19.18%もある。よって、これらの先生方への自負につながる認定資格などの位置づけや、対価を保障するなどの改善が必要であると考える。

実際、実習指導者の負担は、個別指導を毎日行っている園が 69.86%、2 日に一回が 11.3%になり、その時間は 15 分（55.07%）、30 分（39.49%）でもある。しかも、95.21%もが各養成校の指定する実習記録票を使用しているといった実態がある。養成校により様式がことなることの困難への指摘が、36.99%もある。実習担当者は、コメントや訂正についての指導部分をして、その日のうちに記録を学生に返す場合が 14.73%で、翌日に返す場合は、64.38%である。大変丁寧で、労力費やして指導してくださっていることが分かる。実際、45.55%もの指導者が、記録を見る時間が足りないと述べている。これらから、実習先の担当者の負担が大変大きいことを意識する必要があると考える。

多くの担当者が、実習生指導について、保育士の職務を伝える大事な機会であり（77.05%）、自身の勉強にもなる（61.99%）と答えている。その姿勢に感銘を受けると共に、それに応える制度設計を行う必要があると考える。

５－２－１－４．学生の課題について

マナーや態度・意欲といった社会人としての基礎的なことが指摘されている。養成校教員に実習園の声をしっかりと伝え、相互理解を促すことが必須と考える。

加えて、学生への精神面への実に温かく優しい配慮や、学生と共にまた学生を通じて学びたいといったきわめて謙虚な要望もあり、敬意に値するものもあった。この点から、養成校との相互理解の深化や、ますますの協同の可能性があると大いに期待する。

５－２－１－５．養成校の課題について

記録様式の統一化への要望が寄せられている。各養成校の独自性もあるが、県によっては養成校の連携による実習指導の統一ガイドラインや様式、さらには、実習後の学びの機会の共有などが進められている地域もある。兵庫県においても、様式の統一化について、検討を始め、進めていく必要があると考える。

学生の態度については、やはり、資格取得のためだけとの態度で実習を受けることは、実習園および専門職である保育者に極めて失礼であると考える。養成校側の責任を明確にすることが必要であると考える。一方で、実習園も資格取得の重みについて考え、実習園においても、実習内容の保障や実習指導者の力量についての責任があることを確認する必要があろう。両者が責任ある関係性で、兵庫県の保育者養成が進められていくことを願っている。そして、特に、指導、評価については話し合いを重ね、合意を得ることが大切であると考える。

５－２－２．養成校を対象とした調査についての考察

５－２－２－１．実習先との関係性について

実習園は普段から交流のある施設かという問いについて、「はい」が 34.38%、「どちらともいえない」が 43.69%、「いいえ」9.38%であった。その内実をみると、例年、実習を実施しているといった関係性があげられており、保育の内容や実践そのものについてかかわるといった関係性ではない様相である。

国内外では、資格の更新講習が大学院での実践検討を行う演習と重ねられていたり、行政監査や研修に養成校教員が大いに関わっており、そこでの教え子との関係性も良好に発展していたり、現職保育者の現場での課題の解決が研究課題となって大学院進学や学位取得にもつながったりしている例もある。

実習巡回が、園内研修日となっていたり、養成校の専門職による保育者支援（保育カウンセリング等）の機会となっていたりする例もある。養成校と実習先との、保育の質の維持・向上に繋がるような関係性づくりへと発展していくことが期待される。

５－２－２－２．保育実習の位置づけについて

「保育実習」が「教育実習」の前に実施するケースが 75%となっていた。その理由は、期間が短い方を先とする、というものが多い。「保育実習」が「教育実習」よりも前に実施されることについて、そのより積極的な学びの位置づけと、その理解の浸透が必要であると考える。つまり、例えば、「保育実習」を「教育実習」よりも先に実施することにより深まる

学びとしては、特に、0 歳からの子どもの育ちの理解を深めることが可能となること、養護と一体となった教育を体験的に学び、それを基盤として実習することがより可能となることなどがあげられると考える。

５－２－２－３．指導者の対応について

「実習施設に直接言えないようなこまったこと」にあげられている内容は、ごく一部の極めて稀なケースであると考える。しかし、万が一の事態が起こらないように、実習園の関係者の方々に目を通しておいてほしいと考える。

保育者をあこがれの職業として目指し、実習に挑む学生にとって、非倫理的な保育者の言動を見聞きしてしまうことは、極めてショックな経験となる。実習生に対するかかわり方のみならず、子どもと接するときの言動、同僚との関係性、素行等についても、実習生に与える影響を考え、実習園においては、人権意識を高く持ち、保育者は実習生にとっての憧れのモデルとなってほしいと考える。

実習の最終的な単位認定は、養成校の責任である。しかし、実習園の評価がその判断の根拠となっている。保育者としての資格を得るという、大切な判断に関わっていることについて、自覚することが実習園には望まれる。現在が拙い状況にあったとしても、実習生の可能性をつむことなく、その成長への期待をもってほしいと願う。保育者としての向き不向きを断言したり、評価を盾にしたりといったことはあってはならないことである。

特に、指導者の実習生へのかかわりについては、養成校から実習生の実態の在り方について語られており、それへの対応への期待がなされている。実習生は、保育実践についての理解が極めて乏しい場合が多いことを、前提とすることが期待される。保育の仕事は、子どもと接するだけではなく、環境構成や環境の再構成、振り返りや、それに基づく計画など記録が大切であることや、それらに費やす時間があることすら、実習を通じてはじめて認識する実習生も多い。環境構成が雑務に思えたり、記録が苦通に感じたりといったことは、理解不足の場合もあるので、保育の仕事とその意味に関する丁寧な説明を実習生に現場において繰り返しすることが望まれる。

なお、これらについては、養成校の責任も多大であると考える。実習においてどういった仕事があり、それぞれにどういった意味があるのかについて学ぶ機会が実習前に十分に設けられている必要があると考える。その内容について、実習園が養成校に提案したり、教示したりして、養成校の教育の改善につなげていただきたいと期待する。

指導者の方の存在は、実習で大きな役割をはたしていることは、「実習施設に直接言えないようなこまったこと」の「指導者に対して」欄を読むと明らかである。実習生に与える影響を考えて、人権意識や倫理的配慮について、再度確認をしていただきたいと切に思う。

なお、極めて稀なケースではあると思うが、実習園における子どもに対する不適切な状況が実習生から報告された折、不測の事態にいたらぬように、情報を集約し、対応する方法を検討する必要があると考える。実習生の誤解である場合もあるが、その場合においても誤解を解くことが大切であると考える。組織として情報を受け入れ、集約する窓口を検討する必要があると考える。

５－２－３．実習生を対象としたアンケート

５－２－３－１．実習先選択について

近さや通園利便性が実習先選択の理由として圧倒的に多いが、卒園生であることが次に多かった。園に対する、素晴らしい評価であり、そのことを確認し、誇りに感じて欲しいと考える。

５－２－３－２．園の先生方の影響

実習前後に、保育者として働きたい気持ちが、変化したかどうかについての問いについては、「よくない方に変わった」が 16.31%であり、「良い方に変わった」が 60.73%であった。実習が保育者として働くことへの意欲の向上につながっていることがうかがえる。その中で、「良い方に変わった」その理由は、子どもと触れ合いその育ちを感じる喜びを実感したことなどが、89 件と最も多い。次に、自らの成長を感じた充実感などが、73 件と多い。さらには、保育者から受けた影響が 37 件と続く。子どもとかかわる実践経験や、充実感に続き、保育者の姿が、保育者になろうとする学生の意思に影響を与えていることが分かる。学生の将来設計にあたり、保育者の存在と影響力が極めて大きいことについて、多くの実習園の保育者に知ってほしいと考える。

一方で、「悪い方に変わった」理由として最も多いのは、「保育実践や保育業務によるもの」が 46 件と多い。保育の仕事は、重責を伴い、大変高度なものである。保育者の専門性や保育の仕事の重要性をしっかりと可視化し、この仕事が、誰にでもすぐにできるようになる仕事ではないことを、より社会に伝える必要があると考える。そのうえで、保育者としての経験をつみながら、その実践力を少しずつ積み重ねていき、いかにキャリアを形成していくのかのイメージを実習生に提供することが、実習園および養成校の共通した課題であるように思う。

実習生や初任者が、過度に、自らの力不足に憂いたり、現状に落胆することがないように、励ましつつ、指導することが今後ますます必要となってくると考える。保育者は、実践経験を積み重ね、経験と共に省察して学び続けることにより、成長していく仕事であり、そこにやりがいを感じたり、自己実現を見出したりすることを、実習校と養成校とが協力して支援する必要があると考える。

５－２－３－３．実習の感想・振り返りについて

実習生の実習を終えての感想で、肯定的な内容としては、「子どもとの関わり」が 95.71%で最も多く、続く、「指導案の組み立て方、書き方」(47.85%)、「実践的な部分」(47.64%)、「保育士・保育教諭との関わり」(44.85%)、「子どもの発達」(41.85%)、「記録の書き方、評価」(39.70%) と 50 ポイント近くの差がある。一方で、否定的な内容については「記録の書き方、評価」(80.47%)、「指導案の組み立て方、書き方」(78.54%) が極めて多く、続いて「実践的な部分」(57.41%)、「子どもとの関わり」(51.07%)、「保育士・保育教諭とのかかわり」(40.13%) となっている。

養成教育においては、幼稚園教諭については、免許法改訂に伴い、保育の「領域に関する専門科目」がもうけられた。同科目では、理論的基礎の修得に加えて、指導案の作成や、模擬保育の実施等、実践に関連づけた記録を学ぶ機会が新たにつくられている。現在、移行措置中ではあるが、今後、より保育実践につながる指導が実習前に養成校で実施されることが予測され、また、その充実には、実習園からの養成教育への支援や助言が期待されると考える。

指導者の指導については、多くの実習生が、いずれの項目についても、指導者の丁寧でこまやかな指導があったこと、適切なアドバイスを得たことを評価している。相談しやすい雰囲気づくりや、相談する時間や場所の設定があったことが、よかったとの声も多い。なお、要望や課題についても、担当者の態度が問題としてあげられている。

５－３．おわりに

本調査から明らかになった課題としては、まず、実習にあたっては、実習園の指導者の影響が大きく、実習生の育ち、進路選択に、大きく関わっているということである。実際に多くの実習園の指導者が、高い志を持ち、多くの労力を実習指導に費やしてくださっていることが、本調査からも分かった。実習生指導を任される力量のある保育者に対して、その位置づけや、インセンティブを検討することを強く要望したい。

次に、実習園と養成校の連携の充実がさらに望まれることが明らかになったと考える。個々の園や養成校レベルではなく、より一体的で組織的な、連携体制を創ることが今後、必要であると考える。実習内容や、指導者の役割、さらには、記録様式などについても、共通化を図る方向で議論を始める必要があるようにも思う。

次世代育成の根幹を担う、生涯の人格形成の基礎を培う、保育者の仕事は、社会において極めて重要な仕事であり、また責任も大きく、実際に、大変高度な仕事である。保育者の専門性を構成する、実践力は、一石二鳥で修得されるものではなく、省察と対話を伴う実践の積み重ねと共に培われていくものである。その成長の第一歩を踏み出す、実習は、保育者養成においても、現場に就職し、園でキャリアを形成していく上でも、極めて重要である。しかし、日本の実習教育は大変短く、その内容も画一化されていない。世界各国では、実習期間は、平均 15 週、北欧では 20 から 22 週、タイなどでは 1 年にもおよぶ。実習園および養成校における指導者の資格認定がなされている国等もある。日本においても、実習園における実習教育が極めて重要であることへの認識を広め、その体制づくりや内容の充実を図ることが、今後ますます期待されると考える。

文責　北野幸子（神戸大学大学院）

6. おわりに

私たちにとって保育士不足は大きな問題としてここ近年どこの施設でも叫ばれています。保育士不足の問題はいくつかの理由があると思いますが、その中の１つが養成校との懇談会から見えてきた実習中に心が折れる学生の存在です。どのような実態があるのかという思いで、今回実習について調査いたしました。

この調査から、実習生に真摯に向き合い協議の時間を作り、励まし指導する担当保育士の存在や、そのような保育士から学生自身も多くを学び、自身も「保育士への道を選択し有意義な実習時間を送りました。」という喜ばしい回答も数多くありました。そんな中、全く正反対の意見の中に、怖い保育士や陰口を言う保育士によって心が折れてしまう現状が見受けられました。保育士個人の問題と捉えがちですが、施設の問題として考え、職場環境を向上するなどを整備することにより保育士自身の心に余裕が生まれ、笑顔で実習生に向き合えるかもしれません。

施設側として思い当たることや、腑に落ちないことも多々あるかと思いますが、この調査から見えてきた課題をご自分の園のこととして考え、改善できるように私たちが努力することは、実習生だけではなく今現在働く保育士の離職防止にもつながることと考えます。

私たちは優秀な学生を保育士として迎える上でも、養成校と協力しながら未来の保育士を育てていくことが大切でしょう。

最後になりましたが、この調査結果をまとめるにあたりご協力いただきました神戸大学大学院 北野幸子准教授、保育士部会委員長、調査研究委員の先生方、兵庫県保育協会事務局の方々にも心より感謝申し上げます。

兵庫県保育協会 調査研究委員長　爲谷智恵美

2019 年度　実習受け入れ施設、保育士養成校、

実習生を対象としたアンケート集計結果

2020 年 3 月発行

発行
公益社団法人兵庫県保育協会
〒651-0062　神戸市中央区坂口通 2-1-1
電話：078-242-4623　FAX：078-242-1399

●兵庫県保育協会調査研究委員会
委 員 長　　爲谷智恵美（バラホーム保育所）
副委員長　　藤原和則（あけぼの認定こども園）
委　　員　　加藤美輪（認定こども園あおい宙川西）
荻原隆浩（保育園ゆりかごの家）
小林俊光（めばえのにわ保育園）
荻野尚子（いちじまこども園）
大前恵子（中田保育園）

●監修　　北野幸子（神戸大学大学院　准教授）
●協力　　保育実習充実支援実行委員会委員